

令和5年度
埼玉県「性に関する指導」
課題解決支援事業 実施報告書



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

令和6年3月

埼玉県教育委員会

はじめに

学校教育活動、そして子供たちの生活にも大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月に、感染症法上の位置付けが5類に移行しました。各学校におかれましては、これまでの長期間にわたり、また、現在においても子供たちの健康観察の徹底や校内の環境衛生の維持・管理など、学校における感染拡大防止のため、様々な対策に取り組んでいただいておりますことに、改めて、心より感謝申し上げます。

近年、ますます加速する社会状況の変化により、こうした新たな感染症や、肥満・痩身、生活習慣の乱れ、メンタルヘルスの問題、アレルギー疾患の増加、性に関する諸課題など、児童生徒等の心身に影響を与える様々な健康課題が生じています。このような健康課題の解決を図るためにも、学校における健康教育は重要な役割を担っています。

学校における「性に関する指導」は、児童生徒が性に関して正しく理解し、適切に行動を取れるようにすることを目的として、学習指導要領に基づき、児童生徒の発達の段階に応じ、学校の教育活動全体を通じて行われています。とりわけ、体育科、保健体育科の保健の授業で行われる「性に関する指導」は、健康教育を効果的に推進する上で大変重要です。

本報告書は、埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業における令和5年度の取組の概要や成果等についてまとめております。すべての学校において、掲載の指導実践例等を活用していただき、児童生徒の発達の段階を踏まえ、学校全体の共通理解の下、保護者の理解を得ることにも配慮しながら、集団指導と個別指導の連携を効果的に行うなど、「性に関する指導」の充実が図られることを期待します。

結びに、本事業の円滑な推進に御尽力いただきました、「性に関する指導」課題解決検討委員の皆様をはじめ、実践発表、授業研究会等に御協力いただきました、各小中高等学校並びに関係教育委員会の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、今後もお一層の御指導・御協力を賜りますようお願いいたします。

令和6年3月

埼玉県教育局県立学校部参事兼保健体育課長
松中 直司

目 次

I	埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業について	
1	事業の趣旨	1
2	事業内容	1
3	実施内容	1
4	事業の成果と課題	3
5	令和6年度の事業予定について	13
II	埼玉県「性に関する指導」指導者研修会	14
III	埼玉県「性に関する指導」授業研究会	39
1	小学校部会 八潮市立八幡小学校	40
2	中学校部会 志木市立志木中学校	55
3	高等学校部会 県立北本高等学校	69
IV	埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会	82
1	設置要綱	82
2	委員名簿	84

I 埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業について

1 事業の趣旨

発達の段階に応じた効果的な性に関する指導を推進するために、学識経験者を含めた課題解決検討委員会を立ち上げ、効果的な指導法の研究・普及・実践を行うこと。

- ・課題解決検討委員を講師として、「知識を活用した保健学習－性に関する指導編・感染症編－」「保健教育参考資料 なるほど！保健の授業づくり－令和4年度発行－」を活用した指導者研修会及び授業研究会を実施する。
- ・発達の段階に応じた性に関する指導について研究する。
- ・性に関する指導に携わる教員等を指導する指導者養成を兼ねる。

2 事業内容

- (1) 「性に関する指導」課題解決検討委員会
- (2) 「性に関する指導」指導者研修会
- (3) 「性に関する指導」授業研究会

3 実施内容

- (1) 課題解決検討委員会について

- ア 第1回課題解決検討委員会 令和5年6月28日（水）知事公館中会議室
 - ・日程確認、役割（校種別）分担について
 - ・「知識を活用した保健学習－性に関する指導編・感染症編－」「保健教育参考資料 なるほど！保健の授業づくり－令和4年度発行－」を活用した授業研究会について
 - ・「性に関する指導」指導者研修会について
- イ 第2回課題解決検討委員会 令和5年8月29日（火）埼玉県立文書館講座室
 - ・授業研究会について（発達の段階に応じた性に関する指導の実践研究）
- ウ 第3回課題解決検討委員会 各校種での授業研究会
 - ・授業研究会の運営、指導助言（発達の段階に応じた性に関する授業の実践研究）
- エ 第4回課題解決検討委員会 令和6年1月26日（金）知事公館大会議室
 - ・事業実施報告及び研究のまとめ

- (2) 「性に関する指導」指導者研修会

ア 趣旨

性情報の氾濫や規範意識の低下から、青少年の性に関する問題行動に伴い、中高生における性感染症や人工妊娠中絶などが喫緊の課題となっている。

この課題解決のためには、学習指導要領の趣旨に基づいて、学校全体で共通理解を図り、保護者の理解を得ながら、児童生徒の発達の段階を踏まえた指導が必要である。

学校における性に関する指導の充実を図るため、その必要性を十分理解し、学習指導の実践研究、普及啓発が行われるよう研修会を開催する。

- イ 開催日時 令和5年8月9日（水）午後1時20分から午後4時30分まで

- ウ 開催方法 Zoomによるオンライン開催

エ 参加対象者

- ・公立小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員（体育・保健体育担当教職員、養護教諭等）
- ・市町村教育委員会の指導主事

オ 内容

・行政説明

埼玉県教育局県立学校部保健体育課 指導主事 坂上三四郎

・事例発表

小学校指導事例 第4学年「体の発育・発達」
(イ) 思春期の体の変化
小鹿野町立小鹿野小学校 養護教諭 阿部 真子

中学校指導事例 第1学年「心身の機能の発達と心の健康」
(イ) 生殖に関わる機能の成熟
所沢市立小手指中学校 養護教諭 三好明日美

高等学校指導事例 第2学年「生涯を通じる健康」
(ア) 生涯の各段階における健康
県立和光国際高等学校 養護教諭 斉藤美智子

・講演

「学習指導要領に基づく性に関する指導の考え方と進め方」
講師 筑波大学名誉教授 野津 有司 氏

(3) 「性に関する指導」授業研究会

効果的な指導方法の実践研究を行う。

- 発達の段階に応じた効果的な性に関する指導を行うための指導方法の実践研究
- ・ 「性に関する指導」における小・中・高の系統的な保健教育の実践研究を行う。

【構造化された授業の提案】

- ・ 学習内容の明確化（1時間1時間に何を学ばせるのか、何を学んだのかが明らかかな授業）
- ・ 基礎的・基本的な知識の習得と、知識を活用する学習活動の取組
- ・ 学習内容を主体的に取り組みさせるための教材化
- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現

ア 小学校部会授業研究会

令和5年11月29日（水）八潮市立八幡小学校
第4学年「体の発育・発達」(イ) 思春期の体の変化
教 諭 藤田 晃輔（T1）
養護教諭 富塚 里江（T2）

イ 中学校部会授業研究会

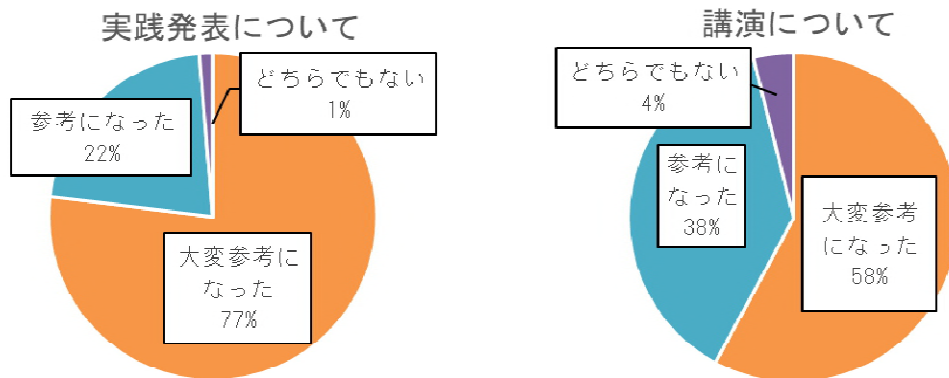
令和5年11月16日（木）志木市立志木中学校
第1学年「心身の機能の発達と心の健康」(イ) 生殖に関わる機能の成熟
教 諭 市橋 亜美（T1）
養護教諭 力丸真智子（T2）

ウ 高等学校部会授業研究会

令和5年11月22日（水）県立北本高等学校
第2学年「生涯を通じる健康」(ア) 生涯の各段階における健康
教 諭 川尻鈴ノ介

4 事業の成果と課題

(1) 「性に関する指導」指導者研修会について
＜参加者アンケートより＞



【実践発表について】 ※一部抜粋

- ・小学校が参考になりました。ケーススタディをこういう形で入れる発想がなかったので、参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・スタンダードな性教育実践から、ICT 機器を活用した授業、自分事として課題を捉えられる年齢でのライフプランを見据えた授業展開など一つのテーマの実践発表でありながらも教育という大きな枠組みの中で幅広く、汎用性が高い内容で大変勉強になりました。(小学校・養護教諭)
- ・どの校種もポジティブな捉え方になるような、性教育であると感じました。自分の中でも性教育となると良い悪いで考えてしまうところがあるので、今日のような実践のとおり、子どもたちが責任をもち幸せに生きる選択ができるような教育をしていきたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・これまで実施してきた4年への保健教育ですが、指導案検討でイメージを持つことや、事前の実態把握、授業の工夫などは今後取り入れたいと思うものばかりでした。また、中学校での ICT 活用がとても勉強になりました。授業実践を聞ける機会はとてもありがたいです。先生方、ありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・ワードクラウドは、学級や学年のイメージを視覚化でき、授業の前後でどのような変容があったか把握しやすいと感じた。(小学校・養護教諭)
- ・児童や生徒が主体的にかつ深く学ぶための実践的な工夫を事例から知ることができたため。(小学校・教諭)
- ・具体的な指導の内容や、使用したワークシートについてご解説いただき、自分の学校でも同じような授業をしてみたいと思ったため。(小学校・養護教諭)
- ・特に小学校の内容は、保健の授業で扱っている内容なので、参考にしたい。また、中学、高校の内容も知れたことで、系統がわかり、指導に繋がりをもたせることができると感じた。(小学校・教諭)
- ・各発達段階における養護教諭との TT を含めた実践例で担任とどう役割分担したら良いか。また、小学校での指導がどのように中学、高校と繋がっていくか知ることができ小学校では基礎知識と性や他人への前向きな感情を教えることが大切であると学んだ。中学校では ICT を活用し自分でまとめる、他者の考えをリアルタイムで共有するなど行なっていて考えの交流や主体的な学習について取り入れたい部分を多く学んだ。高校の実践では学んだことを自分の人生にどう生かすか考える授業で性教育のゴールだと思った。(小学校・養護教諭)
- ・子どもたちが参加型の指導を進める上でとても参考になりました。(小学校・養護教諭)

- ・指導上の配慮事項や子どもの反応等も大変参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・小中高のそれぞれの学校種の実践が聞けたことが、今後の参考になった。養護教諭の方の実践が多く、担任等の連携の面でもとても勉強になった。(小学校・養護教諭)
- ・自分が以前に行った実践と似ているところがありました。今まで手探りで取り組んでいて自信がありませんでしたが、方向性は間違っていないのだなと確認できて少しほっとしました。より子供達に響く指導ができるよう勉強していきたいと思います。(小学校・養護教諭)
- ・児童が主体的に考える事が大切だと分かりました。保護者の経験談を取り入れる事も良いと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・小鹿野小学校の事例発表がとても参考になりました。指導する際の担任の先生と養護教諭の役割分担など、分かりやすかったです。本校での指導の際に、児童の実態に合わせて生かしたいと思いました。また、小学校で指導したことを中学、高校へ繋げていくことの大切さが分かりました。(小学校・養護教諭)
- ・実際に行った指導例を発表していただき勉強になりました。今までの自分の指導では、どうしても一方的に説明する時間が多く悩んでいたため、今年度は本日の実践例を参考に展開を考えたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・どの校種の先生方も計画的意図的に保健教育における性教育に取りこんでいらっしやっとても参考になりました。また ICT を活用した授業展開がますます求められた教育手段になることを実感しました。(中学校・養護教諭)
- ・中学の取り組みでは、異性について調べることで、互いの理解につながり、深まると思いました。養護教諭と連携していきたいです。(中学校・教諭)
- ・校種別、発達段階別の指導方法や、健康課題の差、留意事項の違いなど非常に分かりやすく勉強になりました。(中学校・養護教諭)
- ・指導の視点や、今回の授業で生徒がどんな反応を示し、何を学んだのかを知ることができ、今後の教科指導につながる内容でした。(中学校・教諭)
- ・カテゴリーによってアプローチの仕方が異なることを比較、知ることができた。また、小学校の発表でケーススタディをまとめて行うことの重要性に気付かされた。ただ知識を教えるのではなく、実践で使うことで自分ごととして捉えることができ、表面上だけの学習にならないので今後取り入れていきたい。中学校に関しては、小学校の時に習ったことや中1だからこそ性に関するアンケートを取ることで、授業に活かせることができ、小中連携にも繋がれると感じた。(中学校・教諭)
- ・性教育は生徒が恥ずかしくなってしまうため、一方的な講義形式になってしまうことが多かったが、子ども達が自ら疑問点を見つけ、調べ、発表することで自分ごととして学びを深めることができると感じたから。(中学校・養護教諭)
- ・養護教諭として性に関する指導にどう関わっていけばいいかわからなかったため、校種ごとに知ることができて大変参考になりました。担任との連携、学校内での共通理解そして保護者への理解も大切だとわかりました。(中学校・養護教諭)
- ・養護教諭の特性を活かしていたこと、タブレットを効果的に使用していたこと、児童生徒が自身と結び付け考えさせる工夫がされていたことが参考になった。(中学校・養護教諭)
- ・性に関する指導の事例発表を視聴し、校種それぞれに合わせた指導の仕方や授業内容が工夫されていると感じました。能動的な学習者観に立った教育の実践、素晴らしかったです。(高等学校・養護教諭)
- ・友達との意見交換やグループワークの方が効果的であることを学んだ。(高等学校・教諭)
- ・生徒の性教育に対する恥ずかしさを軽減するために、事前アンケートを実施し、みなさんの疑問や考えの共有を行ったという取り組みが大変参考になりました。(高等学校・養護教諭)
- ・性教育は発達段階に応じて系統的に行う必要性を再確認できました。(高等学校・養護教諭)
- ・小中高と異なる発達段階に応じて、内容や流れ、教材についてたくさんの工夫が詰まっ

た先生方の実践は、大変参考になりました。(高等学校・養護教諭)

- ・小中高と段階的な指導の流れを見させていただき、具体的な指導のイメージを持つことができた為。(高等学校・教諭)
- ・生徒や教員の感想なども共有してくださり、成果や課題がわかりやすかった。(高等学校・養護教諭)
- ・校種によって、それぞれの工夫された授業展開が面白かったです。個人的にはスクールタクトを使って、子供の率直な考えを聞き出すというのが面白いと思いました。(特別支援学校・養護教諭)
- ・授業の組み立て方や教材等、とてもわかりやすく、特別支援学校でも工夫次第で使用できると思いとても参考になった。(特別支援学校・教諭)
- ・シルエットのクイズ形式や授業展開など具体的で非常に参考になりました。(特別支援学校・教諭)
- ・小低では令和4年度まで「体育」の保健分野で、プライベートゾーンについて授業実践をしていましたが学習指導要領の内容に載っていないことか今年度より「生活単元学習」での扱いになりました。その中で養護教諭との連携が検討されていますが、体制面の課題から2人いても出前授業は難しい…と言われてしまう現状があります。そのため、3名の先生の実践を聞きながら養護教諭と担任の役割分担がいかに関重要であるかを学ぶことができました。特に中・高等部での連携を本校でも検討していく必要性が高いことを学べたので、提案していきたいと思います。(特別支援学校・教諭)
- ・小学校の先生の発表が本校中学部の生徒の実態にあっていて、参考にさせていただきたいと感じた。(特別支援学校・教諭)
- ・実際に保健の授業の事例を学ぶことができ、一授業の流れをイメージすることができる機会となったから。(教育行政・指導主事)

【講演会について】 ※一部抜粋

- ・なぜ性教育が必要なのかというところから、深い学びのための「ネタ」となる指導方法の例まで教えていただけて、参考になった。実践してみたいと思う。(小学校・養護教諭)
- ・野津先生の講義をもっと聞きたかったです。世界と日本の性教育の在り方や日本の実態など、エビデンスに基づいた講演内容が日頃から性教育の在り方を迷いながら実践していた自分自身にとってひとつの道しるべになりました。小学校の性教育も系統的指導の一助になっていることを願いながら今後も授業をしていきたいと思います。(小学校・養護教諭)
- ・諸外国のセクシャリティ教育について知識がなかったので勉強になりました。(小学校・養護教諭)
- ・諸外国の実情が素晴らしく、日本のみ後退していると感じていたので実情を知るとともに課題も知ることが出来た。(小学校・養護教諭)
- ・校種にもよるかとは思いますが、性感染症についてもっと触れていかなければいけないと危機感を持ちました。(小学校・養護教諭)
- ・各諸外国や、日本の性教育についてわかり、どんな教育が必要なのかわかった。また、どんな教育が子どもたちにとって良いものなのかもわかった。(小学校・養護教諭)
- ・グローバルな視点で各国の性教育の実施について理解できた。性についての相談を受けた際の養護教諭の心構えを学べた。(小学校・養護教諭)
- ・児童の発達段階や実態を把握し、必要な内容・教材・指導方法などをよく検討すること、児童自身が真剣に考えられる学習にすることなどが大切であることを学ぶことができた。(小学校・養護教諭)
- ・性教育は、一時の流行の指導項目ではなく、「生徒が身につけた知識をもとに、本当に幸

せになるために、どう考えどうするか」という保健指導・個別指導である、ということが再確認できました。(小学校・養護教諭)

- ・内容が盛りだくさんでもっとじっくりとお話を聞きたかったですが、国際的な視点から日本の性教育の現状や指導上の留意点などを知ることができました。(小学校・教諭)
- ・性感染症や性交体験などの統計は予想と違う部分もあり、改めて知識の獲得が必要だと感じた。教授の話が大変面白く、もっと聞いていたかった。特に個別指導の話などをもっと詳しく聞きたいと感じた。(小学校・教諭)
- ・個別指導において、相談者が話してよかったと思えるような時間が作れるようにすることが大切だということが印象に残りました。今後性に関する内容の個別指導や健康相談では、傾聴することを特に意識して取り組んでいきたいです。(小学校・養護教諭)
- ・欧米諸国の性教育事情から、現在の日本の性に関する指導の課題まで、幅広い視点から知ることができました。指導の際に大切な拠り所を確認することや、一教師の思いのみで行う指導にはしないことなど、心に留めておきたいことがたくさんありました。時間があればもっと細かい部分までお聞きしたかったです。(小学校・養護教諭)
- ・他国の性と人間関係という学習項目が印象に残っており、性教育とは知識だけでなく他者尊重、よりよい人間関係構築等にも関わってくると思いました。知識が増え思考が複雑になる上の学年ほど自分の意見を持ち意見交流してほしいと思いますが羞恥などから発言者が少なくなるため、発言しやすい雰囲気や仲間づくり、ブレインストーミングなどの仕掛けづくりが大切であると学びました。教え込むだけの性教育ではなく、正しい知識を得た上で自分なりの考えを持ち他社との中で考えを深められるような性教育を行なっていきたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・野津先生の性に関する指導への熱意を端々に感じることができました。「日本は性教育後進国だ」と、ここ数年メディアなどで取り上げられている中、日本の教科書検定制度や学習指導要領の意義を改めて感じるとともに、あとは実践する私たちにかかっているのだと強く感じました。(小学校・養護教諭)
- ・学習指導要領の内容をふまえ、学校で性教育を進めるにあたってのポイントが詳しくわかったから。(小学校・養護教諭)
- ・野津先生には細かく具体的な説明をしていただき、とても勉強になりました。特に保健室で保健指導・個別指導を行う時、自分が喋りすぎていると気づきました。今後は相談者が話す時間を確保することを意識して、話して良かったと思ってもらえる指導を心がけます。(小学校・養護教諭)
- ・現在、本校では、性に関する指導の見直しを行っているところです。内容だけでなく教え方も検討していくことがさらなる充実につながるということで、養護教諭や保健主事だけでなく、全教職員で連携を図りながら協議していきたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・グローバルな視点から「日本の性に関する教育」がどうあるのかのお話や、効果的な指導方法まで多岐に渡るご講演で大変勉強になりました。自分は養護教諭なので、「日本に養護教諭がいる強み」を再認識するとともに、個別指導について、意図的、計画的にとという部分で大変考えました。2学期以降、学習指導要領に基づいた全体指導教材の工夫を行い、養護教諭の専門性を生かした個別指導を実施したいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・世界の性に関する取組について、初めて知る機会となりました。世界的にも課題が多い分野だということがわかりました。日本においても地域、学校、家庭、子どもの実態が違うことから、その実態を踏まえた上で実施することが大事であると改めて学びました。どこまで踏み込んでよいのか難しい分野であり、日々頭を悩ませています。生命の神秘を伝えられるというのは、保健体育教師として幸せであると感じました。私自身、誇りをもって日々勉強していきたいと思いました。(中学校・教諭)
- ・世界の性教育と日本の性教育を比較したお話を聞く機会がなかったので、勉強になりま

した。一部の報道でその国全体が同様の指導をしていると思ってしまいがち...というところでは、まさに私もその1人でした。日本の性教育の現状や他国からどう見えているのか、今日の研修を受けなければ知ることがなかったと思います。本当に学びが多い研修となりました。ありがとうございました。(中学校・養護教諭)

- ・性に関する指導において、集団指導と個別指導との区別、留意事項、様々な手法について熟知することができた。(中学校・養護教諭)
- ・all or nothingではなく方法や教材の工夫をしながら進めることをご推奨だったこと。(中学校・養護教諭)
- ・日本は性行為、多様性、ジェンダーの内容不足や欠落している現状であることを知ることができた。しかし、授業時間数に限りがあることも事実であって、単体で時間を取るのには難しい。ここで、学校教育全体で取り組むことという野津先生の話から教科横断的な授業展開を今後取り組んでいきたいと思った。保健体育の保健分野だけで行う、頼るのではなく、学級経営の中でも伝えていきたいと思った。(中学校・教諭)
- ・世界の性教育について学ぶことができた。性教育は保護者、学校、地域で連携しながら、共通理解を図りながら行う必要があると学んだ。性教育を行う立場として、自覚を持ち、教材研究や授業の工夫を行っていききたい。(中学校・養護教諭)
- ・外国の実践が大変参考になりました。また学習内容の検討だけでなく、指導方法の検討が必要という先生のお話が印象的でした。(中学校・養護教諭)
- ・他の国の取り組みやケーススタディの例を挙げて説明してくださり、興味深い内容でした。(高等学校・教諭)
- ・グローバルな取り組みについて教えていただき大変参考になりました。性教育について賛否の議論で終わるのでなく、どういった内容を生徒に伝えるかという議論が大切というお話が印象に残りました。(高等学校・養護教諭)
- ・海外の性に関する指導について知る機会がなかなか無いため、良い勉強になった。(高等学校・教諭)
- ・海外の性教育の実態は日頃なかなか耳にする機会がないため新鮮でした。またそこから見えてくる日本の性教育の長所や、不足している部分についてもお話いただき視野が広がったように感じます。後半のお話もゆっくりお聞きしてみたかったです。(高等学校・養護教諭)
- ・世界の性教育のあり方を知れて勉強になりました。世界と比べ、日本は性教育しやすい環境にあるにも関わらず、必要とわかっていながらもどう行なって良いかわからない等不安をかかえる教員も多くいます。特に若い教員が増え、歳の近い生徒たちにどう伝えれば...と悩みを吐露してくれた教員もいました。本校は性教育...包括的セクシャリティー教育の大切さを理解していながらも組織づくりがなされておりません。組織を作っていこうと私含め数人、声を上げていっているのでも、先生のご講義を参考に進めていけたらな、と考えております。(特別支援学校・養護教諭)
- ・海外との比較を詳しく聞けました。ケーススタディーが実践的で、自校でどのようにできるか考えるきっかけになりました。(特別支援学校・養護教諭)
- ・題材的に羞恥心があったり、マイナス的なところもあるので、お話にあったようにマイナスイメージを払拭できるよう指導、支援をしていきたい。(特別支援学校・教諭)
- ・望まない妊娠から意図しない妊娠、印象に残りました。(特別支援学校・養護教諭)
- ・エイズについて、なんとなくではなく根拠をしっかりと持つために調べ直す必要があると感じました。相談者が話す時間をできるだけ多く確保することが非常に大事だということに改めて認識することができました。(特別支援学校・教諭)
- ・オランダ、フィンランド、イングランド、アメリカの性教育の現状を初めて知り、性教育への考え方は国州によって全く異なることを知りました。「5、さらなる充実に向けた

教育課題」における自転車の図がとてもわかりやすく、運転手指導者の育成×前輪教育制度システムの改善・充実×後輪教材・指導方法の改善・充実の3つが機能することによって充実していくことを理解することができました。(特別支援学校・教諭)

- ・ 普段は考えないグローバルな視点から普段の実践という身近なところまでつなげて話していただき、”性に関する指導”が単なる一つの指導領域というよりは、子どもたちの”生”につながる大切な学習内容であるという思いを新たにしました。(特別支援学校・教諭)
- ・ 性に関する指導について、他の国でもその国の風土や文化に応じた取組が成されていること、またそれぞれによさや課題があることもよくわかりました。学校現場は〇〇教育が溢れておりやるべき事が山積みですが、どの教育に関しても、主体的対話的で深い学びに資することが改めて大切だと実感しました。本日はありがとうございました。(教育行政・指導主事)

【生命（いのち）の安全教育について】

＜令和5年度に、取組を計画・実施した事例＞ ※一部抜粋
(小学校)

- ・ 特別活動 低学年 プライベートゾーン
- ・ 市の取組としていのちの授業を行ってもらう。
- ・ 体育(保健)、特別活動、道徳、理科など。小中の養護教諭で指導内容を確認し、教材提供や養護教諭が関わるものの確認をしている。他校種へのつながりを意識。
- ・ 2学期発育測定で確保してある時数の学校行事1の中で実施予定
- ・ 助産師に講義を依頼予定
- ・ 4年生の保健教育、5年生へ林間学校前の月経指導。
- ・ 特別活動として実施している「性に関する指導」に関連しての指導を計画している。
- ・ 4年生の保健の授業後にミニ保健指導として計画を入れた。
- ・ 学級活動・性に関する指導・身の回りの安全(声掛け事案について)(プライベートゾーンについて)
- ・ 校外学習前の体の変化、手当の仕方(男女、高学年)
- ・ 小1にプライベートゾーンの授業をしている。
- ・ 特別活動 1年、3年、6年(プライベートゾーン、距離感、SNSの使い方)
- ・ 授業参観時に道徳をとおし、全学年で行った。
- ・ 所沢市では教育委員会を中心に市全体で命の指導を積極的に研修で行っていると思います。(市内共通した指導用パワーポイント上映)

(中学校)

- ・ 命の教育・助産師による出前授業、赤ちゃんふれあい体験
- ・ 3学期に各学年で性の指導を計画している。(その中で実施予定)
- ・ 各学年の学級活動など、性教育の内容に、生命の安全教育で扱う内容を盛り込んでいます。
- ・ 総合的な学習の時間に助産師による「いのちの授業」の講演会を実施予定
- ・ 産婦人科医を講師に招き、中学3年生および保護者へ向けて性に関する講演会を開催予定
- ・ 総合・講師を招いて、いじめや性教育と絡めながら講演をしてもらう。
- ・ 特別支援学級の特別活動時間で性に関する指導、三年生の特別活動の性に関する指導にて指導を計画
- ・ 総合の時間、非行防止教室

- ・総合で性教育を行っているため、そこに盛り込んだ。
- ・保健学習の中に、命の安全教育の教材・資料等を活かした実践を計画中である。また、志木市養護教諭会において、R 5年度の研究課題テーマとして取り組みを始めている。

(高等学校)

- ・他分掌（生徒指導部等）で計画が進められているのかもしれない。

(特別支援学校)

- ・保健の授業
- ・性教育の指導の中で実態に応じて各学部、学年で実施している内容です。
- ・各学部個別の実践の中で、命の安全教育に関する内容を取り扱っている。(学校安全年間計画、学校保健年間計画)

<成果>

- 学習指導要領の指導内容をおさえた授業実践について周知することができた。
- 小・中・高等学校の系統的な指導内容の理解が深まった。
- 新学習指導要領改訂の背景や抑えるべきポイントの理解が深まった。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について理解が深まった。
- ケーススタディなどの具体的な指導方法について理解が深まった。

<課題>

各学校で、「性に関する指導」を適切に推進していくために、学習指導要領を正しく理解することや、発達の段階を踏まえた指導内容、学校全体での共通理解、保護者の理解、集団指導と個別指導の連携を密にした効果的な指導をする必要がある。また、「生命（いのち）の安全教育」の内容で、「性に関する指導」に関連付けることができるものについて、各学校の実情に応じた取組を実施していく必要がある。引き続き研修の充実を図りたい。

(2) 「性に関する指導」授業研究会について ※参加者アンケートより一部抜粋

ア 小学校部会

- ・実際に授業に入らせていただくことが多い単元内容について、非常に精選され、養護教諭と教諭の専門性が生かされた授業を拝見し、勉強になりました。(小学校・養護教諭)
- ・冨塚先生のおだやかで温かい言葉が心に響きました。ICT を効果的に活用していて、とても勉強になりました。子どもたちが自分事として考えていたので、子どもたちの表情も生き生きしていました。本日学ばせていただいたことを本校でも生かしていきたいです。(小学校・養護教諭)
- ・本時は日本の性教育自体賛否が起こることが多い、正にそのど真ん中の学習内容で、知識の獲得のさせ方や学習の流れなど、学びの多い45分でした。(小学校・教諭)
- ・マンガの吹き出しをスクールタクトで活用したり、ワークシートでさらに学びが深まったと感じた。(小学校・教諭)
- ・児童の言葉から課題を設定したり、プリントかタブレットか選べたりなど、主体的に学べる展開になっていて、大変勉強になりました。(小学校・主幹教諭)
- ・単元を丁寧にとりあつかい、児童の発言も全て受け止めていて、児童に、思春期の成長が「あたりまえのふつうのこと」と伝わっているように感じました。ケー

- ススタディも、本当に友達に伝えるようにしていて、有効だとあらためて認識しました。T1、T2が流れるようにすごくわかりやすかった。(中学校・養護教諭)
- ・教科横断的な視点で、カリキュラム・マネジメントを考える機会となった。(教育行政・指導主事)

イ 中学校部会

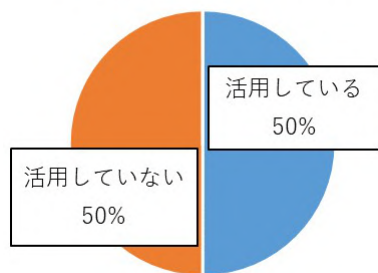
- ・タブレットを使い、ロールプレイの動画を録画させたり、生徒の意見や感想をその場ですぐに確認できることで、授業がより効率的に効果的にできると感じた。(小学校・養護教諭)
- ・「生命の安全教育」とも大きく関わる内容の授業を見せていただいたことは大変貴重でした。性というはずかしさを感じる子も多い中、人間関係にもつながるといところが自分事としてとらえられるような授業でした。(小学校・養護教諭)
- ・担任と養護教諭の連携がすばらしく、自分も授業に参加したいという意欲が湧いた。中学生だと気恥ずかしくて難しいのかと思われたロールプレイングもヘルプカードを使ったり、色々な意見を参考に実践できていてICTも活用した高度な授業を見せていただきました。(小学校・養護教諭)
- ・子どもたちのタブレットの活用がすばらしい(ワークシートへの入力、ロールプレイ動画をとって提出、保護者へのまとめ資料の共有、QRコードからの感想記入etc)。教員側もタブレット操作に慣れていた。生命の安全教育を取り入れた内容の授業をもっと見たかった。(中学校・養護教諭)
- ・まとめプリントを配布し、家庭で話してもらうことで、家庭での性教育のきっかけや学校でどんなことを学んでいるのか知ってもらう機会になる。Googleformで保護者からの感想を提出してもらえることで、次の保健教育の参考になる。(中学校・養護教諭)
- ・知識を与えた後の「行動をどのようにしていくか」について、1時間しっかり使って定着させる素晴らしい授業だったと思います。(中学校・養護教諭)
- ・ロイノートを活用した授業を見る機会がなかなかなく、勉強になりました。(中学校・養護教諭)
- ・保護者アンケートを事前に取り、また最後に課題として家の人と話して共有させる所など、なるほどと思いました。(中学校・養護教諭)
- ・実際に役割を演じることで、生徒たちがイメージをもちやすく、今後の生活に実践しやすくなる。知識だけで終わりにせず、生徒に体験させ、生徒の声でまとめているのが大変良かったです。(中学校・教諭)
- ・中学校段階において、性について正しい知識を学ぶことの重要性とともに、自分のこととして考えながら、課題を解決していくことの価値・意義を考えることができました。(教育行政・指導主事)
- ・ティームティーチングで行う授業は初めて見ることで、養護教諭の役割、保健体育科からの役割と、専門性を活かした授業というものがよく分かりました。生徒が「自分事」として捉えられるようにするために、ロールプレイを使った対話的な授業内容で、生徒自身が考えられる内容になっていて、参考にさせていただきたいところが多くありました。(学生)
- ・今回の指導内容の中で、養護教諭の専門性を生かしていくことに難しさを感じていましたが、まとめで相談窓口としての保健室利用について伝えることで、授業での学びを日常生活に繋げることができることがわかった。(学生)

ウ 高等学校部会

- ・性教育といのちの教育が合わさっていて、性教育の重要性や生活に生かせる知識としてより定着していたと感じました。(高等学校・教諭)
- ・生徒がまとめたスライドの後に、教員が補足をすぐ行うことで、とても分かりやすいと感じた。その中で、キーワードとなるものをハッキリ生徒に伝えていた印象があり、分かりやすかった。「恥ずかしい・いやらしい」という印象を持ちがちな性教育ですが、生徒が主体的に活動を行っていた。(高等学校・教諭)
- ・2学期に同じ単元の授業を行っていました。授業をしながら、学びは深まっているのか、言葉の表現がよくなかったのではないかと感じていました。授業を見学させていただき、私自身の中で単元作りに見通しを持つことができました。(高等学校・教諭)
- ・性に関する指導については、個人の感覚のみならず、学校全体で共通理解をしながらがよいと改めて感じた。生徒によく考えさせることの重要性をより認識した。(高等学校・教諭)
- ・自身の授業として、単元毎に完結させることが多いが、まとまりとして振り返ることが効果的であることがわかった。また、映像を分ける等、ICTの有効性を再認識できた。(高等学校・教諭)
- ・生徒がまとめ、語る場面が多く、それに付随して教員が補足を入れる形は、複数の単元をまとめる1コマとしての使い方に工夫を感じました。「性」を悪いものとしてとらえさせない話しぶりは見習おうと思います。(高等学校・教諭)
- ・「性に関する指導」の授業づくり・進め方だけでなく、効果的な学習のために保健体育科全体で単元計画を見通した実践を見ることができて良かった。また、研究協議の中で、保健が担っている役割・責任は大きいと改めて感じる事ができた。(高等学校・教諭)
- ・ICTの活用が参考になりました。ジャムボードを使用することで、生徒の考えを把握して、授業の展開に応じて発表させている点は、私も活用しようと思いました。(高等学校・教諭)
- ・センシティブな内容である性教育をどのように生徒に伝えていくかを改めて考える良い機会になった。妊娠(性交)等はただ怖いものではなく、事前にできることもあれば後から対処できる方法もある。どう伝え、どのような印象を生徒に残すか、どんな学びをもたらすことができるかを改めて考えさせられた。(特別支援学校・教諭)

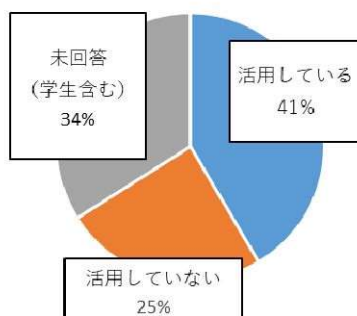
エ 外部講師の活用について ※参加者アンケートより

所属校で「性に関する指導」
に外部講師を活用しているか



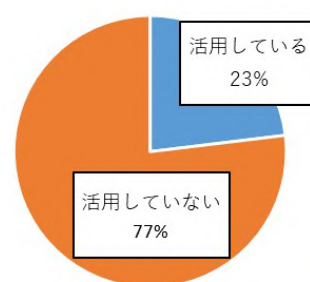
【小学校部会参加者】

所属校で「性に関する指導」
に外部講師を活用しているか



【中学校部会参加者】

所属校で「性に関する指導」
に外部講師を活用しているか



【高等学校部会参加者】

<外部講師を活用している場合の具体的内容> ※参加者アンケートより一部抜粋

(小学校)

- ・小6 いのちの授業（産婦人科医） いのちの大切さ、プライベートゾーン、異性とのかかわりかたなど
- ・助産師の直井先生を講師にお招きしてお話していただいています。出産の映像等も流していただき、より命の大切さが伝わり、心が温くなる授業です。「生まれてきてくれてありがとう」という言葉が心に残ります。
- ・助産師 小6 児童にむけて…命について 保護者へむけて…家庭でできる性教育について
- ・助産師による性教育（いのちの誕生）
- ・小5 生命の授業（助産師さんの後援 生命の尊さ、妊娠中や出産時の様子、おなかの中の赤ちゃんの様子、二次性徴など）
- ・小学3年生の特活で、命の授業にて助産師さんより講話。
- ・5年生の理科、生命委の誕生の内容にあわせて、受精～誕生、家族の思い、相手の尊重等について
- ・4年生の総合学習で、「性に関するお話」として、保健師さんから異性の体を知るという内容で、保護者参観で行いました。
- ・4年生 からだの成長 産婦人科の助産師が来校 出産（本当の出産シーン）、卵子と精子が出会う確率など、月経について
- ・学校保健委員会、学校公開日に誕生学の講師の先生をお招きして、ご講演をしていただいています。4年生対象です。

(中学校)

- ・サラ助産院（直井先生）による、いのちの授業／出産ビデオ
命をつなぐ番になること、今、家族の形は三座までも愛されて今があること、ジェンダーと体の性への配慮は別であることなど
- ・助産師による思春期講座（性教育講演会）を各学年で実施している。
- ・避妊方法、若年での妊娠、中絶の現状、デートDV、同意について、自分の心身は自分で守ること、外部の相談できる機関の紹介等
- ・二次性徴、男女交際について、LGBTQ+、子宮頸がんワクチンについて
- ・性欲との向き合い方、避妊法、人工妊娠中絶についての詳細
- ・高橋幸子先生に1学期に講演をして頂いた。月経痛、避妊薬、HPVなど多岐に渡った内容で、参観日に設定したため、保護者も1クラス分くらいの人数が参加されました。しかし、講演会費用は大きな課題です。（動画の視聴も良いのかもかもしれません）
- ・性感染症について、デートDVについて、男女交際について
- ・3年次で、校区内の産婦人科より助産師さんに来ていただき、約1時間の講演をしていただいている。
- ・中学校3学年「いのちの授業」を助産師さんをお願いしています。
- ・生命の誕生、生殖器の発育、ジェンダー、LGBTQ+、性感染症、性被害、生命の安全教育、妊娠、出産、中絶、生理痛
- ・いのちの授業において、助産師さんやピンクリボンの会の方に来て講義をしていただく。
- ・埼玉県助産師会の方に毎年お世話になっています。内容は、主に「生命の誕生」、「多様性」についてです。今年度は学校保健委員会も含めての命の授業を行う予定です。
- ・「命の授業」というテーマで、生まれてくる命、人工妊娠中絶、障害を持って生まれた人の話など、色々な場面での命について学びながら性への正しい知識を身につける。

(高等学校)

- ・人権教育で実施。市内の産婦人科に勤務している産婦人科連絡協議会の方をお招きした。

(特別支援学校)

- ・ R 4 助産師による出前授業
- ・ R 5 NPO ピルコンの「ここからカルタ」ワークショップ (1月)

(八潮市教育委員会主催 (社会教育課))

- ・いのちの授業 (生命誕生、いのちの大切さ) 小6、中3 助産師、直井亜紀 先生
小6は児童1時間、その後、保護者向け1時間

5 令和6年度の事業予定について

(1) 「性に関する指導」課題解決検討委員会の実施 (継続)

ア 日時

- | | | | | |
|-----|----------------------|------|-----------|------|
| 第1回 | 課題解決検討委員会 | 令和6年 | 6月18日 (火) | (予定) |
| 第2回 | 課題解決検討委員会 | 令和6年 | 8月27日 (火) | (予定) |
| 第3回 | 課題解決検討委員会 (部会別授業研究会) | | | |
| | | 令和6年 | 10月～11月 | (予定) |
| 第4回 | 課題解決検討委員会 | 令和7年 | 1月24日 (金) | (予定) |

イ 内容

- ・課題解決検討委員会事業計画の作成
- ・「性に関する指導」指導者研修会の計画
- ・「性に関する指導」授業研究会の計画、指導案の検討
- ・成果報告
- ・事業のまとめ 等

(2) 「性に関する指導」指導者研修会

ア 日時 令和6年8月6日 (火) オンライン開催

イ 内容

- ・行政説明
- ・事例発表

小学校指導事例	第4学年「体の発育・発達」 (イ) 思春期の体の変化	八潮市立八幡小学校	教 諭	藤田 晃輔
---------	-------------------------------	-----------	-----	-------

中学校指導事例	第1学年「心身の機能の発達と心の健康」 (イ) 生殖に関わる機能の成熟	志木市立志木中学校	養護教諭	力丸真智子
---------	--	-----------	------	-------

高等学校指導事例	第2学年「生涯を通じる健康」 (ア) 生涯の各段階における健康	県立北本高等学校	教 諭	川尻鈴ノ介
----------	------------------------------------	----------	-----	-------

II 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会

令和5年度 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会開催要項

1 趣 旨

性情報の氾濫や規範意識の低下から、青少年の性に関する問題行動に伴い、中高生における性感染症や人工妊娠中絶などが喫緊の課題となっている。

この課題解決のためには、学習指導要領の趣旨に基づいて、学校全体で共通理解を図り、保護者の理解を得ながら、児童生徒の発達段階を踏まえた指導が必要である。

学校における性に関する指導の充実を図るため、その必要性を十分理解し、学習指導の実践研究、普及啓発が行われるよう研修会を開催する。

2 開催日時 令和5年8月9日（水） 午後1時20分から午後4時30分まで
（接続：午後1時～）

3 会 場 Z o o mによるオンライン開催（ライブ配信）

4 主 催 埼玉県教育委員会

5 参加対象者

(1) 公立小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員（体育・保健体育担当教職員・養護教諭等）

(2) 市町村教育委員会の指導主事

※参加人数の上限を500名とし、上限に達した場合は、申し込みを締め切ります。

6 日 程

13:00	13:20	13:25	13:45	14:45	14:55	16:25	16:30
受 付	開 会 行 事	行政説明 20分	指導事例発表 60分	休憩	講 演 90分	諸 連 絡	閉 会 行 事

7 内 容

(1) 行政説明

・教育局県立学校部保健体育課 指導主事 坂上 三四郎

(2) 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会指導事例発表

・小学校指導事例 第4学年「体の発育・発達」

(イ) 思春期の体の変化

小鹿野町立小鹿野小学校 阿部 真子 養護教諭

・中学校指導事例 第1学年「心身の機能の発達と心の健康」

(イ) 生殖に関わる機能の成熟

所沢市立小手指中学校 三好明日美 養護教諭

・高等学校指導事例 第2学年「生涯を通じる健康」

(ア) 生涯の各段階における健康

県立和光国際高等学校 斉藤美智子 養護教諭

(3) 講演

演題「学習指導要領に基づく性に関する指導の考え方と進め方」

講師 筑波大学名誉教授 野津 有司

8 その他

(1) 研修当日用意するもの

ア オンライン視聴することができる端末等

イ 研修会配布資料及び筆記用具

※埼玉県HPからダウンロードし、オンライン画面を見ながら資料も参照できるように準備する。資料は令和5年8月4日（金）頃までに掲載予定。

トップページ > 健康・福祉 > 健康 > 学校保健に関すること > 各種研修会の配布資料

掲載HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/f2211/kenshushiryoku.html>

2次元バーコード



現在は掲載終了

ウ 保健教育指導参考資料 「なるほど！保健の授業づくりー令和4年度発行ー

(令和5年3月 埼玉県教育委員会・埼玉県学校保健会)

※各校に1冊配付済みの他、埼玉県HPからもダウンロードできます。

トップページ > 健康・福祉 > 健康 > 健康教育

掲載HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/f2211/hokenkyouiku.html>

2次元バーコード



(2) 申込から研修当日までの流れ

別紙「令和5年度埼玉県「性に関する指導」指導者研修会申込マニュアル」を参照

一指導事例発表資料一

【小学校指導事例】

第4学年 体育（保健領域）

「体の発育・発達」（イ）思春期の体の変化

発表者：小鹿野町立小鹿野小学校 養護教諭 阿部 真子

【中学校指導事例】

第1学年 保健体育（保健分野）

「心身の機能の発達と心の健康」（イ）生殖に関わる機能の成熟

発表者：所沢市立小手指中学校 養護教諭 三好明日美

【高等学校指導事例】

第2学年 保健体育（科目保健）

「生涯を通じる健康」（ア）生涯の各段階における健康

発表者：県立和光国際高等学校 養護教諭 斉藤美智子

令和5年度 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会

小学校指導事例発表

第4学年 「体の発育・発達」

(1) 思春期の体の変化

小鹿野町立小鹿野小学校 養護教諭 阿部真子

学校の概要

◆ 小鹿野町立小鹿野小学校



開校 150周年

児童数 236名

学級数 13学級(通常級10・支援級3)

学校教育目標

- ・ 仲良く力を合わせる子
- ・ 明るく元気な子
- ・ 進んで学習する子



めざす学校像 明るく 楽しい 地域に誇れる学校

1 授業を行うにあたって

2 授業実践

3 成果と課題

学習内容の系統性：保健における体系イメージ

生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力の育成

個人及び社会生活における健康・安全に関する内容

個人生活における健康・安全に関する内容

身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容

高等学校より統合的に

中学校より科学的に

小学校より実践的に

改訂「生きる力」を育む小学校保健教育の手引き

1 授業を行うにあたって

2 授業実践

3 成果と課題

学習内容の系統性

単元「体の発育・発達」

第1時 (年齢に伴う体の変化)	第2時 (思春期の体の変化①)	第3時 (思春期の体の変化②)	第4時 (よりよい発育のために)
<ul style="list-style-type: none"> ○身長や体重の変化 ○個人差 	<ul style="list-style-type: none"> ○体つぎの変化 ○男女の特徴 ○変声、発毛 ○個人差 	<ul style="list-style-type: none"> ○初経、精通 ○異性への関心 ○個人差 	<ul style="list-style-type: none"> ○体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方

↑ 中学校「心身の機能の発達と心の健康」

生涯にかかわる機能の成熟、成熟に伴う変化に対応した適切な行動

1 授業を行うにあたって

2 授業実践

3 成果と課題

本校児童の実態

保健学習 アンケート

1. 学年 〇〇年 〇〇組

2. 性別 〇〇

3. 身長が伸びたとき、体が大きくなったとき、身長が伸びたとき、丈夫になったとき、それぞれについて、保健学習の重要性を感じていますか？

4. 身長が伸びたとき、体が大きくなったとき、身長が伸びたとき、丈夫になったとき、それぞれについて、保健学習の重要性を感じていますか？

5. 身長が伸びたとき、体が大きくなったとき、身長が伸びたとき、丈夫になったとき、それぞれについて、保健学習の重要性を感じていますか？

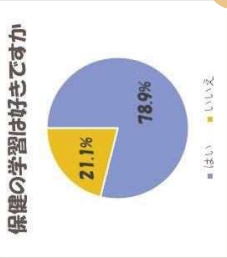
6. 身長が伸びたとき、体が大きくなったとき、身長が伸びたとき、丈夫になったとき、それぞれについて、保健学習の重要性を感じていますか？

7. 身長が伸びたとき、体が大きくなったとき、身長が伸びたとき、丈夫になったとき、それぞれについて、保健学習の重要性を感じていますか？

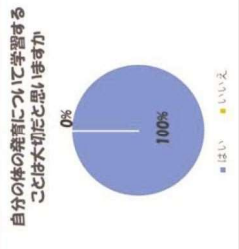
8. 身長が伸びたとき、体が大きくなったとき、身長が伸びたとき、丈夫になったとき、それぞれについて、保健学習の重要性を感じていますか？

9. 身長が伸びたとき、体が大きくなったとき、身長が伸びたとき、丈夫になったとき、それぞれについて、保健学習の重要性を感じていますか？

10. 身長が伸びたとき、体が大きくなったとき、身長が伸びたとき、丈夫になったとき、それぞれについて、保健学習の重要性を感じていますか？



保健学習に意欲的



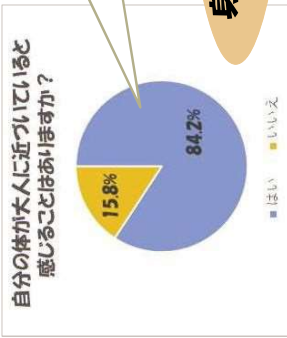
健康や体の発育について学習の重要性◎

1 授業を行うにあたって

2 授業実践

3 成果と課題

本校児童の実態



それはどんなとき？

- ・からだが大きくなったとき
- ・身長が伸びたとき
- ・丈夫になったとき

身長や体重以外の体つきに対する変化を実感している児童は少ない

1 授業を行うにあたって

2 授業実践

3 成果と課題

保護者アンケートの実施

- ◆ 指導内容について
- ◆ 保護者の方の体験談
(体つきの変化が現れたときの気持ち・エピソード等)
- ◆ これから思春期を迎えるお子様へのメッセージ
→ メッセージのみ切り取り、単元の最後に児童に配布

保健学習 保護者アンケートご協力お願い

1. 氏名 〇〇 〇〇

2. 性別 〇〇

3. 子どもの年齢 〇歳

4. 子どもの性別 〇〇

5. 子どもの体つきの変化が現れたときの気持ち・エピソード等

6. これから思春期を迎えるお子様へのメッセージ

7. 子どもの体つきの変化が現れたときの気持ち・エピソード等

8. これから思春期を迎えるお子様へのメッセージ

9. 子どもの体つきの変化が現れたときの気持ち・エピソード等

10. これから思春期を迎えるお子様へのメッセージ

1 授業を行うにあたって

2 授業実践

3 成果と課題

授業の流れ

- [導入 5分]
- ① シルエットクイズ：子どもと大人の体つきの違いについて考える
- [展開 25分]
- ② 成長発見ゲーム：体つきの変化について考え、発表する
 - ③ 身近な大人の体験談：保護者アンケートから紹介
- [まとめ 15分]
- ④ ケーススタディ：悩みに対するアドバイスを考える

習得した知識を活用する場面

1 授業を行うにあたって

2 授業実践

3 成果と課題

【導入】シルエットクイズ



子どもは…
男女で差がない

大人は…
違和感がある

大人は…
男女が入れ替わって
いるのがわかる

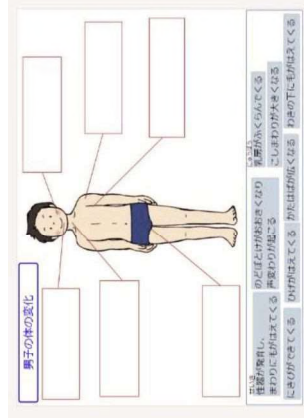
私たちの体は、これからどのように変化するのだろうか

1 授業を行うにあたって

2 授業実践

3 成果と課題

【展開1】成長発見ゲーム



性器って？

変化がわかりにくい

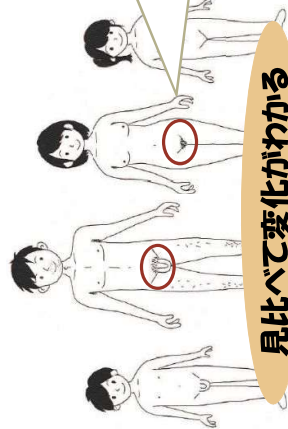
【本校児童の様子】
キーワードをあてはめているだけで
学びが深まっていないのでは…

1 授業を行うにあたって

2 授業実践

3 成果と課題

【展開1】成長発見ゲーム



見比べて変化がわかる

担任がまず見本！



恥ずかしさを軽減

1 授業を行うにあたって

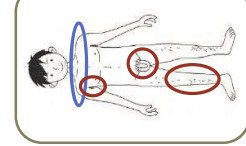
2 授業実践

3 成果と課題

【展開1】成長発見ゲーム

① 個人 → ② グループで確認 → ③ 発表

自分で発見 = 赤で丸
友達が発見 = 青で丸



1 授業を行うにあたって

2 授業実践

3 成果と課題

担任と養護教諭の役割分担



「掛け合い」を意識

担任：授業の進行、個に応じた指導・支援
養護教諭：専門的な内容の指導、配慮事項

思春期：時期、思春期の入り口にたっていること
個人差：変化が大きい人もいれば小さい人もいること
変化の時期は人それぞれであること
安心感：成長することは素敵なこと
いつでも相談にきていいこと

1 授業を行うにあたって

2 授業実践

3 成果と課題

成果

- ◆ 学習をクイズ化・ゲーム化したことにより、恥ずかしさを和らげ、体の変化を肯定的に受け入れることができていた。
- ◆ 担任と養護教諭の連携で、ポイントを押さええた指導を行うことができた。
⇒ 今後の日常における個別指導につなげることができた。
- ◆ 体つきの変化を実感していない児童も、自分事として捉え、考えることができた。

1 授業を行うにあたって

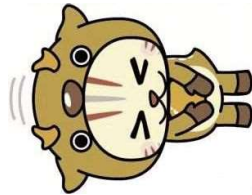
2 授業実践

3 成果と課題

課題

- ◆ 児童の実態や発達段階を踏まえた学習活動の工夫
- ◆ 養護教諭との連携
⇒ 校内全体の理解と協力が必要。
資料や教材の提供、ビデオ出演などの方法も…
- ◆ 校内指導計画の見直しと充実

ご清聴ありがとうございました。



令和5年度埼玉県「性に関する指導」指導者研修会 ～中学校指導実践発表～

単元名 「心身の機能の発達と心の健康」 (イ) 生殖にかかわる機能の成熟



所沢市立小手指中学校 養護教諭 三好 明日美
(授業時：所沢市立所沢中学校)

所沢市立所沢中学校の概要



- 開校77周年
- 令和4年度： 1年生7クラス 2年生7クラス
3年生6クラス
特別支援学級3クラス
全校生徒758名
- 学校教育目標
「自立・共生・貢献」
～求めて学ぶ 共に生きる 力を尽くす～
- 学校経営理念
「はじめに子どもありき」



所沢市イメージキャラクター
トビちゃん

研究の概要

生徒の実態

実践

成果と課題

(イ) 生殖にかかわる機能の成熟 主たる学習内容

・思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経がみられ、妊娠が可能となること。

・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心が高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。

研究の概要

生徒の実態

実践

成果と課題

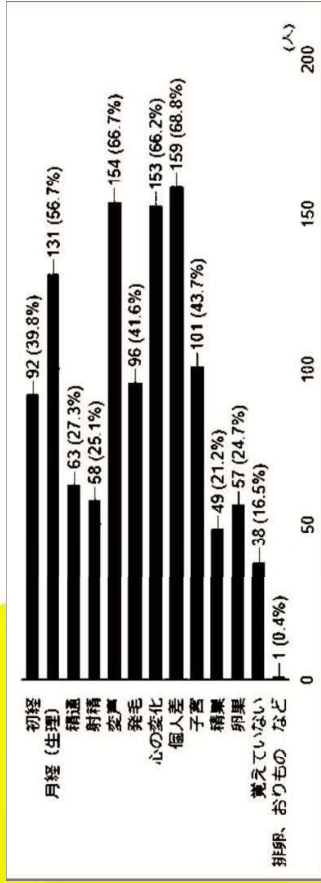
「性に関する指導」を実践する上での課題

- ・生徒が羞恥心を持ってしまったため、「主体的・対話的で深い学び」の実践が難しい。
- ・一方的な講義型の授業になってしまいがち。
- ・自分自身の体のことについて学んでいるが、自分事として捉えることが難しい。

「能動的な学習者観」に立った教育の実践

子どもは教えられ、指示されなければ学ばないという「**受動的学習者観**」ではなく、子どもは本来、学ぶ意欲を持ち、自ら追究し、学び、自分で自分を創っていくという「**能動的学習者観**」を持ち、授業づくりを実践。

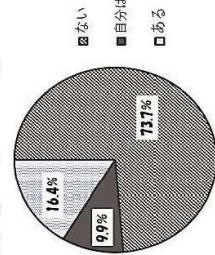
【アンケート①】 小学校の保健の授業で学習したこと、覚えていたことは何ですか？（複数回答可）



【アンケート②】

最近になって次のような経験をしたことがありますか？

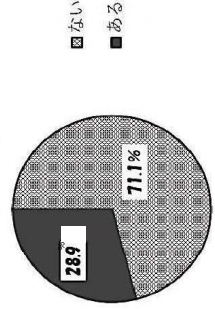
①異性と話すとき、これまでなら何ともしなかったのに意識してうまく話せない。



【アンケート③】

最近になって次のような経験をしたことがありますか？

②「特定の相手と親しく交際したい」と思ったことはありませんか？



生徒の実態

- ・ 明るく前向きな生徒が多く、学習に対しても関心が高い生徒が多い。
- ・ 保健体育をはじめ様々な教科において、身近な話題に対して課題を発見し解決したいと積極的に質問をしたり、自ら調べたり、友達同士話し合ったりする姿が見られる。
- ・ Chrome bookを使った授業が多く、扱いに慣れている。

学習内容・活動

- 第1時
 - ・生殖機能の成熟について理解する。
 - ・「異性を尊重しあい生活していくため」の課題や問題点について考える。
- 第2～3時
 - ・「異性を尊重しあい生活していくため」の課題や問題点を発見し、主体的に課題設定する。
 - ・習得した知識を活用し、さらに探求学習を行い、課題解決に必要な知識や考えについてスライドにまとめる。
- 第4時
 - ・スライドを用いて2人1組でペアを替えながら発表を行う。
 - ・思春期には、内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟すること、成熟に伴う心身の変化に対応した適切な行動が必要となることについて、理解を深める。

導入

「異性を尊重しあい生活していくため」の課題や問題点について考え、自分の考えを言ったり、書いたりして学級内で共有する。
 →尊重し合うためには、お互いの事を理解し合う必要がある。そのために、男女の心身の発達や変化、違いがあることに気づき、学習していく必要感を持たせる。

めあて

- ①思春期における心身の成長についてまとめよう。
- ②思春期の変化に応じた適切な行動とは何だろう。

導入

「異性を尊重しあい生活していくため」の課題や問題点を振り返る。
 (男子)

個人 自分 他人 関係
 思春期 生理 男子 女子 関係
 状態 大切 自分 他人 関係
女子生理男子
 生理 男子 女子 関係
 理解 異性 体 知る 気 体調
 関係 生理 男子 女子 関係
 関係 生理 男子 女子 関係

個人 他人 関係
 思春期 生理 男子 女子 関係
 状態 大切 自分 他人 関係
壁男女差別
 生理 男子 女子 関係
 理解 異性 体 知る 気 体調
 関係 生理 男子 女子 関係
 関係 生理 男子 女子 関係

スクールタクトのワードクラウドより

- ・第1時で共有した内容を再共有し、男女それぞれの考えを確認する。
- ・「壁」を感じていること、お互いに知らないことが課題と感じていること、お互いに理解する必要があると感じていることについて確認する。



展開

・2人1組でペアを替えながらスライド発表

- 発表の方法>
- ① 1人目発表 (2分)
 - ② 質疑応答及び感想 (1分)
 - ③ 2人目発表 (2分)
 - ④ 質疑応答及び感想 (1分)
 - ⑤ グッズジョブカード記入、交換 (2分)
 - ⑥ ワークシート記入
 - ⑦ 移動

- ・ペアを決める際にわかりやすくできるよう、テーマ毎にスライドの表紙を色分けする。
- ・ワークシートの全ての項目を埋められるように自身でテーマを選んで聞きに行く。



1. 自分1人で考えたことや疑問の点を話し合いで学習したことをまとめよう。

相手(発表者)について	発表(発表)の感想について
自分(発表者)について	発表(発表)の感想について
発表(発表)の感想について	発表(発表)の感想について
発表(発表)の感想について	発表(発表)の感想について

展開

・2人1組でペアを替えながらスライド発表



【テーマ：性意識の変化、性情報への対処】

ネット利用のメリット

- ・匿名性があるため、質問や相談がしやすい。
- ・多様な意見や情報を知ることができる。
- ・匿名性があるため、質問や相談がしやすい。
- ・多様な意見や情報を知ることができる。

ネット利用のデメリット

- ・匿名性があるため、誹謗中傷や悪意のあるコメントを受けやすい。
- ・多様な意見や情報を知ることができる。
- ・匿名性があるため、質問や相談がしやすい。
- ・多様な意見や情報を知ることができる。

ネット利用の注意点

- ・匿名性があるため、質問や相談がしやすい。
- ・多様な意見や情報を知ることができる。
- ・匿名性があるため、質問や相談がしやすい。
- ・多様な意見や情報を知ることができる。

まとめ

ネット利用にはメリットとデメリットがある。正しい使い方を知ることが大切だ。

【テーマ：受精・妊娠について】

受精の仕組み

出産

まとめ

受精から出産までの過程を学び、生命の誕生と成長の過程を知ることが大切だ。

展開

・2人1組でペアを替えながらスライド発表



【テーマ：男女の体の仕組み】

男子の体の仕組み

女子の体の仕組み

まとめ

男女の体の仕組みを学び、健康な生活を送るための知識を得ることが大切だ。

【テーマ：生理について】

生理の仕組み

まとめ

生理の仕組みを学び、正しい知識を持って対処することが大切だ。

まとめ

・養護教諭が知識の確認、整理、補足をを行う。
・発表で聞きとれた内容を 確認し、各自ワークシートにまとめる。



【テーマ：生理について】

女子の生理の仕組み

まとめ

生理の仕組みを学び、正しい知識を持って対処することが大切だ。

まとめ

・養護教諭が知識の確認、整理、補足をを行う。
・発表で聞きとれた内容を 確認し、各自ワークシートにまとめる。



【テーマ：生理について】

女子の生理の仕組み

まとめ

生理の仕組みを学び、正しい知識を持って対処することが大切だ。

●生徒が書いたワークシート

1. 自分で調べたことや友達の家を聞いて学習したことまとめよう。

男子の体の仕組みについて

性腺 精巣、副精巣、前立腺、尿道、陰茎、包皮、陰嚢、睪丸、精液、精子、卵子、受精、着床、胎盤、胎膜、子宮、産道、産後、母乳、授乳、育児、子育て、教育、学習、知識、理解、認識、整理、補足、発表、聞き、確認、ワークシート、まとめ。

女子の体の仕組みについて

性腺 卵巣、子宮、産道、産後、母乳、授乳、育児、子育て、教育、学習、知識、理解、認識、整理、補足、発表、聞き、確認、ワークシート、まとめ。

まとめ

男女の体の仕組みを学び、正しい知識を持って対処することが大切だ。

1. 自分で調べたことや友達の家を聞いて学習したことまとめよう。

受精の仕組みについて

精子と卵子が結合して受精卵になる過程を学び、生命の誕生と成長の過程を知ることが大切だ。

出産について

胎児が母体内で成長し、産道を通って産まれる過程を学び、生命の誕生と成長の過程を知ることが大切だ。

まとめ

受精から出産までの過程を学び、生命の誕生と成長の過程を知ることが大切だ。

・養護教諭が知識の確認、整理、補足をを行う。
・発表で聞きとれた内容を 確認し、各自ワークシートにまとめる。

男子の体の仕組みの発達

女子の体の仕組みの発達

まとめ

男女の体の仕組みの発達を学び、正しい知識を持って対処することが大切だ。

・養護教諭が知識の確認、整理、補足をを行う。
・発表で聞きとれた内容を 確認し、各自ワークシートにまとめる。

男子の体の仕組みの発達

女子の体の仕組みの発達

まとめ

男女の体の仕組みの発達を学び、正しい知識を持って対処することが大切だ。



ご清聴ありがとうございました

© Tokorozawa City

新沢市イメージマスコット
トコロん

令和5年度「性に関する指導」 指導者研修会 高等学校実践発表

埼玉県立和光国際高等学校
養護教諭 斉藤美智子

(1) 研究概要

(1) 研究の概要

授業内容の検討

- ① 授業内容決定の流れ
- ② 授業対象の決定
- ③ 本校生徒の実態に適した授業内容

授業内容の検討

① 授業内容決定の流れ

例年、1年生に対し、養護教諭による「性教育」の保健指導を行っていた。

●保健指導を行う中で、恥ずかしさがあり、性教育について消極的な印象であった。もっと工夫した内容で自分毎と捉えてもらう必要がある。

(1) 研究の概要

授業内容の検討

② 授業対象の決定

- a. 養護教諭による「性教育」は1年生対象である。
- b. 「家族計画と人工妊娠中絶」は2年生の単元である。

保健体育教諭 山田一穂先生にご協力いただき、
チームティーチングでの授業を行うことに決定

(1) 研究の概要

授業内容の検討

③ 本校の実態に適した授業内容

- 性教育のフェイスカッション
→ 普段、他教科でも行っているような少人数グループワークを取り入れることにより、性教育について話すことは自然であり恥ずかしさを感じないと感じてほしい。
- 恥ずかしさの払拭 → 事前アンケート実施により、自分毎としてとらえる。
- 性に対するのマイナスイメージを払拭するような授業を意識

(2) 授業実践

単元名「生涯を通じる健康」17生涯の各段階における健康(イ結婚生活と健康「家族計画と人工妊娠中絶」)

※この単元を2時間確保

(2) 授業実践

(1時間目)

家族計画について活発なディスカッションをするために、避妊法や人工妊娠中絶などについての知識を学んでほしいと考えた。

(2) 授業実践

(2時間目)

導入

- ①前時の復習を行った。
- ②本時の課題を提示した。

展開

③事前に実施したクラス全員対象のゲーグルクラスルームでのアンケート結果

(質問1, 2)を見ながらそれぞれの考えを深めた。

- ④将来、希望通りに子どもを持つためにできることを考える。
- ⑤アンケート結果(質問3)を見ながら人工妊娠中絶について考えを深めた。
- ⑥本時の課題に対しての自分の考えをワークシートに記入する。



(2) 授業実践

導入

展開

まとめ

- ③事前に実施したクラス全員対象のゲーグルクラスルームでのアンケート結果を見ながらそれぞれの考えを深めた。

《質問1》

「あなたは将来、パートナーや子どもを持ちたいですか」

(2) 授業実践

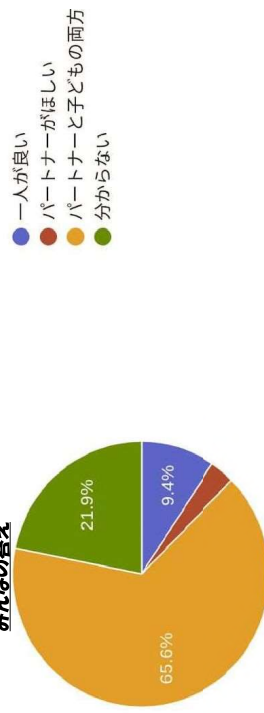
導入

展開

まとめ

《質問1》「あなたは将来、パートナーや子どもを持ちたいですか」

みんなの答え



(2) 授業実践

導入

展開

まとめ

- ③事前に実施したクラス全員対象のゲーグルクラスルームでのアンケート結果を見ながらそれぞれの考えを深めた。

《質問2》

「あなたは将来、子どもを持つとしたら何人ほしいですか」

(2) 授業実践

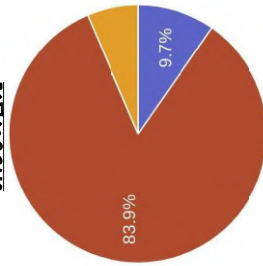
導入

展開

まとめ

《質問2》「あなたは将来、子どもを持つとしたら何人ほしいですか」

みんなの答え



- 1人
- 2人
- 3人
- 4人以上

(2) 授業実践

導入

展開

まとめ

《子どもが受けられる助成制度一覧》を見る

- ★児童手当
- ★子ども医療費助成制度
- ★就学支援制度
- ★予防接種
- ★幼児・保育無償化
- ★子育てパスポート
- ★高等学校等就学支援金制度
- ★高校生等奨学給付金
- ★家計急変への支援
- ★高等教育の修学支援新制度
- ★奨学金 など

(2) 授業実践

導入

展開

まとめ

《インターネットサイト調査結果を見る》

★ほしかった子どもの人数より、実際に授かった人数は少ない人が多かった。

★希望通りの子どもを授かった人数ではない理由

1位:経済的理由 2位:理由はない 3位:体力的問題

4位:仕事・育児支援の問題 5位:家庭環境の問題 6位:年齢の問題

(2) 授業実践

導入

展開

まとめ

(2時間目)

導入:①前時の復習を行った。

②本時の課題を提示した。

展開:③事前に実施したクラス全員対象のグループワークでの

アンケート結果(質問1, 2)を見ながらそれぞれの考えを深めた。

④将来、希望通りに子どもを持つためにできることを考える。

⑤アンケート結果(質問3)を見ながら人工妊娠中絶について考えを深めた。

⑥本時の課題に対しての自分の考えをワークシートに記入する。

(2) 授業実践

導入

展開

まとめ

④「考えてみよう！」

「将来、希望通りの人数の子どもを持つためには、どのような工夫や努力をしたら良いと思いますか？」

- ※グループで話し合う
- ※ワークシートに記入
- ※発表する

④「考えてみよう！」

「将来、希望通りの人数の子どもを持つためには、どのような工夫や努力をしたら良いと思いますか？」

〔生徒の回答〕

- 貯金する ○ストレスを溜めない ○夫婦で話し合う ○支援制度の活用 ○経験者の話を聞く
- 子育ての知識を身につける ○過度の期待をしない ○早めに結婚をする ○健康面に気を遣う
- 手伝ってくれる人を増やす ○逆算して計画する ○子作りの期間を設ける
- 子育てに良い環境へ引っ越す ○ワークライフバランス ○生活習慣に気を付ける

(2) 授業実践

導入

展開

まとめ

(2時間目)

導入:①前時の復習を行った。

②本時の課題を提示した。

展開:③事前に実施したクラス全員対象のグループワークスルームでの

アンケート結果(質問1、2)を見ながらそれぞれの考えを深めた。

④将来、希望通りに子どもを持つためにできることを考える。

⑤アンケート結果(質問3)を見ながら人工妊娠中絶について考えを深めた。

⑥本時の課題に対しての自分の考えをワークシートに記入する。

(2) 授業実践

導入

展開

まとめ

⑤アンケート結果(質問3)を見ながら人工妊娠中絶について考えを深めた。

《質問3》

「人工妊娠中絶の最も多い年齢は何歳くらいだと思いますか？」

(2) 授業実践

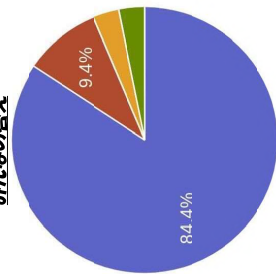
導入

展開

まとめ

《質問3》「人工妊娠中絶の最も多い年齢は何歳くらいだと思いますか」

みんなの答え



- 20歳未満
- 20歳～24歳
- 25歳～29歳
- 30歳～34歳

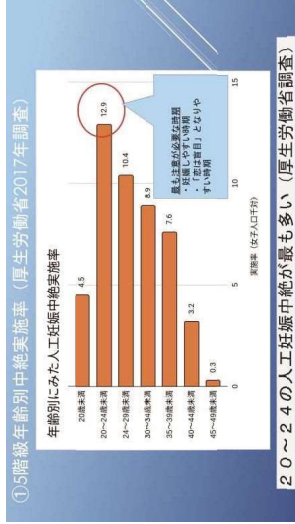
(2) 授業実践

導入

展開

まとめ

《厚生労働省の人口動向調査結果を見る》



★アンケート結果では、生徒の8割以上が最も中絶が多いのは20歳未満と予想していたが、実際の調査結果では、20歳～24歳が最も多かった。

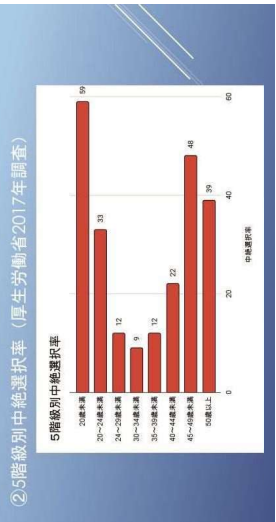
(2) 授業実践

導入

展開

まとめ

《厚生労働省の人口動向調査結果を見る》



★5階級別中絶選択率としての調査結果は、中絶を選択した割合が最も多かったのは20歳未満だった。

(2) 授業実践

導入

展開

まとめ

『考えてみよう！』

「このグラフからどんなことが考えられますか」

※ワークシートに記入
※発表する

(2) 授業実践

導入

展開

まとめ

「考えてみよう！」このグラフからどんなことが考えられますか」

【生徒の回答】

- 後先考えていない人が20歳未満に多いのかなと思った。45歳～49歳に多いのは、子育てする体力がないからだと思った。
- 中絶選択率が少ない年代は、子どもがほしい人が多い年代だから少ないと考えられる。
- 20歳未満の人は経済力がないため中絶を選択する人が多い。
- 24歳～39歳は計画的に妊娠している。
- 20歳未満は産んでも育てる環境や意思が追いつかない。45歳～49歳は産みたくても体力の問題で子どもにも危険な状態にないやすい。
- 30歳くらいだと、予期せぬ妊娠だとしても産もうと思えるかもかもしれない。

(2) 授業実践

導入

展開

まとめ

⑥ 本時の課題「充実したライフプランにするため、自分に行えることを考える」に対しての自分の考えをワークシートに記入する。

- ※それぞれワークシートに記入。
- ※隣の人に記入した内容を伝える。
- ※数人に発表してもらおう。

(2) 授業実践

導入

展開

まとめ

【2時間目】

導入：①前時の復習を行った。

②本時の課題を提示した。

展開：③事前に実施したクラス全員対象のグループワークスルームでのアンケート結果(質問1, 2)を見ながらそれぞれの考えを深めた。

④将来、希望通りに子どもを持つためにできることを考える。

⑤アンケート結果(質問3)を見ながら人工妊娠中絶について考えを深めた。

⑥本時の課題に対しての自分の考えをワークシートに記入する。

(2) 授業実践

導入

展開

まとめ

本時の課題「充実したライフプランにするため、自分に行えることを考える」

A さん (男子)

望まぬ妊娠をしないために先のことまで考えることが大切で、子どもの人数などをパートナーと一緒に合う際にも先を考えてお金など逆算して考えていこうと思いました。どんな時でも性行為には1つの命に関係する責任が生まれるので相手のことを考え、軽はずみな行動をしないようにと思いました。

B さん (男子)

「まだ早いだろう」と言えなくなってきた歳になつたと改めて感じました。学ぶことが多くて少しマイナスな気持ちもありますが、その反面任されていると責任を感じるので少し大人になつた実感もあります。やっと小・中学校の性教育が何のためか分かってきました。

(2) 授業実践

導入 ▶ 展開 ▶ まとめ

本時の課題「充実したライフプランにするため、自分にできることを考える」

Cさん (女子)

今後の生き方は自分にしか決められないから、もし選択に迷ったら慎重に判断するべきだと思います。妊娠とかは大きな決断だと思うけど、お金の面でも子育ての面でも助けてくれる制度が意外とあるので、使いこなすために産む前にも産む前にどういうのがあるか調べたいです。後悔しない生き方がしたいです。

Dさん (女子)

不妊についてあまり知らず、本当に少しの確率で子を授けられない人がいると思うんです。たのですが、意外にも不妊で悩んでいる人は多くいると知りました。早いうちから自分の体について病院等で調べべきなのだとということを学びました。

(2) 授業実践

導入 ▶ 展開 ▶ まとめ

本時の課題「充実したライフプランにするため、自分にできることを考える」

Eさん (男子)

将来、自分は子どもが何人ほしいのか、何歳くらいで結婚するのかなどしっかりと人生の計画を立てていく必要があると感じました。また、望まない妊娠を避けるために、「子どもを持つたい」「育てたい」「育てたい」という思いや覚悟がない場合は、避妊をしっかりとすべきだと感じました。

Fさん (男子)

家族を持つということは多くの人や子どもが子どもの頃から願望として、当たり前のように話す人もいますが、実際は経済的、身体的など多くの壁がある事を知った。子どもを持つのは望まれた形で産まれたか、や「経済的な余裕があるのか」「子どもの工コで子どもに苦労をかけたくない」と思いました。

(2) 授業実践

導入 ▶ 展開 ▶ まとめ

【教師の思いを伝える】

★教科担任より

ライフプランによって自分の価値観は変わっていくもの。しかし、自分を大切にすることは常に忘れないでほしい。子どもを作るということは責任が生じるが、同時にかけがえのない幸せも生まれる。良い人生を歩んでほしい。

★養護教諭より

充実したライフプランにするためには、家族計画が必要であることは分かってくれたと思います。しかし、人間はロボットではないので計画通りに行かないことも多々あります。そんな時も、前向きに考えて与えられた環境の中でまた新しいライフプランを立て直し、幸せを見つけて行ってほしいと思います。身体のこと、性のことの悩みは人それぞれだと思います。心配なことがあったら躊躇しなからず、保健室や信頼できる大人に相談して自分のかけがえのない人生を大切にしていってください。

(3) 授業参加者からの感想

(3) 授業参加者からの感想

(良い点)
G先生

養護教諭との連携を上手くとることで、生徒への効果的な指導が行えることを知れた。また、グループワークを有効に活用することで、価値観がそれぞれ違うことに気づきやすくなったことを知った。

H先生

授業で使ったワークシートを見て、「小・中で学んだことが繋がった」「責任感を感ずることの大切さを再認識しました。」等の生徒の感想を読んで、小さい頃から系統的に学

I先生

性教育は恥ずかしいことだとは思いますが、事前アンケートやグループワークなど工夫することによって関心を持たせているのが良かったです。2時間分の授業を行ってほしいなという声も含まれていました。また、性教育についてマイナスなイメージを抑え込むのではなく、話し合いを促すような授業展開の大切さを知りました。

(3) 授業参加者からの感想

(改善すべき点)

J先生

生徒の雰囲気良すぎてスムーズな授業であった。話す、話さないの切り替えが大事だと思った。生徒観の差が大き過ぎるため、自分の学校では使えないかもしれない。

K先生

「責任」という言葉が多く使われていて心に残っています。生徒たちが真剣に発言しているのを見て授業の成功を感じました。また、「国際社会で必要とされるグローバルリーダー」を見つけていることが出来ませんでした。「海外ではこんな制度があるんだよ」など、和国ならではの授業を期待していました。

(4) 成果・課題・感想

成果

- 事前にアンケートを実施することで、友達の名えを知ることが出来、恥ずかしさを和らげることが出来た。
- 人工妊娠中絶、避妊法、不妊治療の知識を身につけた上、グループワークをすることで、家族計画の思考を深めることが出来た。
- 保健学習に養護教諭がT、Tに入ることで、専門的な知識に加え、保健室の事例を話すことで、より身近な学習に感じられた。

課題

- 性に関してのマイナスなイメージを払拭しなかったが、どうしても性のリスクも伝えなければならなかった。
- 授業参加者からのご意見にもあったように、国際高校の特徴を生かしたグローバルな内容を取り入れることが出来なかった。
- 保健体育教諭と養護教諭のT、Tを実施するにあたり、話し合いする時間が少なかった。

(4) 成果・課題・感想

(4) 成果・課題・感想

感想

今まで実施していた年に1回の養護教諭による保健指導は、1時間の中で多くの知識を身に着けてほしいという思いから、語込み式で怖いイメージの保健指導になっていたことに改めて気づかされました。今回授業研究をさせていただいたことにより、生徒が自ら考えて、それぞれの答えを見出していくことの大切さや、フラスのイメージの性教育の大切さが分かりました。

学習指導要領に準じての授業を行うことに不慣れで、戸惑うことも多々ありましたが、多くの方によるご協力のもと性教育の内容を深めることができました。ありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました。

埼玉県立和光国際高等学校
養護教諭 石藤美智子

Ⅲ 埼玉県「性に関する指導」授業研究会

【小学校部会】

令和5年11月29日（水）八潮市立八幡小学校

第4学年「体の発育・発達」（イ）思春期の体の変化

教諭 藤田 晃輔（T1）

養護教諭 冨塚 里江（T2）

【中学校部会】

令和5年11月16日（木）志木市立志木中学校

第1学年「心身の機能の発達と心の健康」（イ）生殖に関わる機能の成熟

教諭 市橋 亜美（T1）

養護教諭 力丸真智子（T2）

【高等学校部会】

令和5年11月22日（水）県立北本高等学校

第2学年「生涯を通じる健康」（ア）生涯の各段階における健康

教諭 川尻鈴ノ介

(小学校部会)

令和5年度埼玉県「性に関する指導」授業研究会（小学校）開催要項

1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらに関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科（保健体育科）の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和5年11月29日（水）

4 会 場 八潮市立八幡小学校 八潮市中央4-21-16

5 参加者 (1) 八潮市立小中学校、県内特別支援学校（小学部設置）の教職員（教諭、養護教諭等）

※八潮市立小学校においては各学校1名参加してください。

(2) 東部教育事務所（埼玉葛地区）管内市町教育委員会の指導主事等

6 日 程

- | | | |
|----------|---------------|----------|
| (1) 受 付 | 13時20分～ | (図書室) |
| (2) 開 会 | 13時35分～13時50分 | (図書室) |
| (3) 公開授業 | 13時55分～14時40分 | (4年1組教室) |
| (4) 研究協議 | 14時50分～16時30分 | (図書室) |

7 公開授業

学年	授業者	単元名
4年	藤田 晃輔 教 諭 (T1)	体の発育・発達 (イ) 思春期の体の変化
	冨塚 里江 養護教諭 (T2)	

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	教育指導幹	大松 武晴
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	坂上三四郎
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主 査	峰岸 宏次
八潮市教育委員会指導課	主任指導主事	加藤 裕也

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼玉大学教育学部教授	委員長	戸部 秀之
川口市立並木小学校校長	副委員長	岩澤奈々子
毛呂山町立泉野小学校教諭	委員	綿貫 聡
本庄市立藤田小学校養護教諭	委員	塩澤美保子

9 参加について

- ・体調のすぐれない方は、当日の参加を遠慮するようお願いします。
- ・上履きと下足入れをお持ちください。
- ・お車でお越しの際は、北門側から入り、駐車してください。
- ・会場校に来校する際には、以下の方法をお願いします。

八潮市立八幡小学校への御案内



(2) 体の成長とわたし

(ア) 育ちゆくわたしたちの体

(イ) 思春期にあらわれる変化

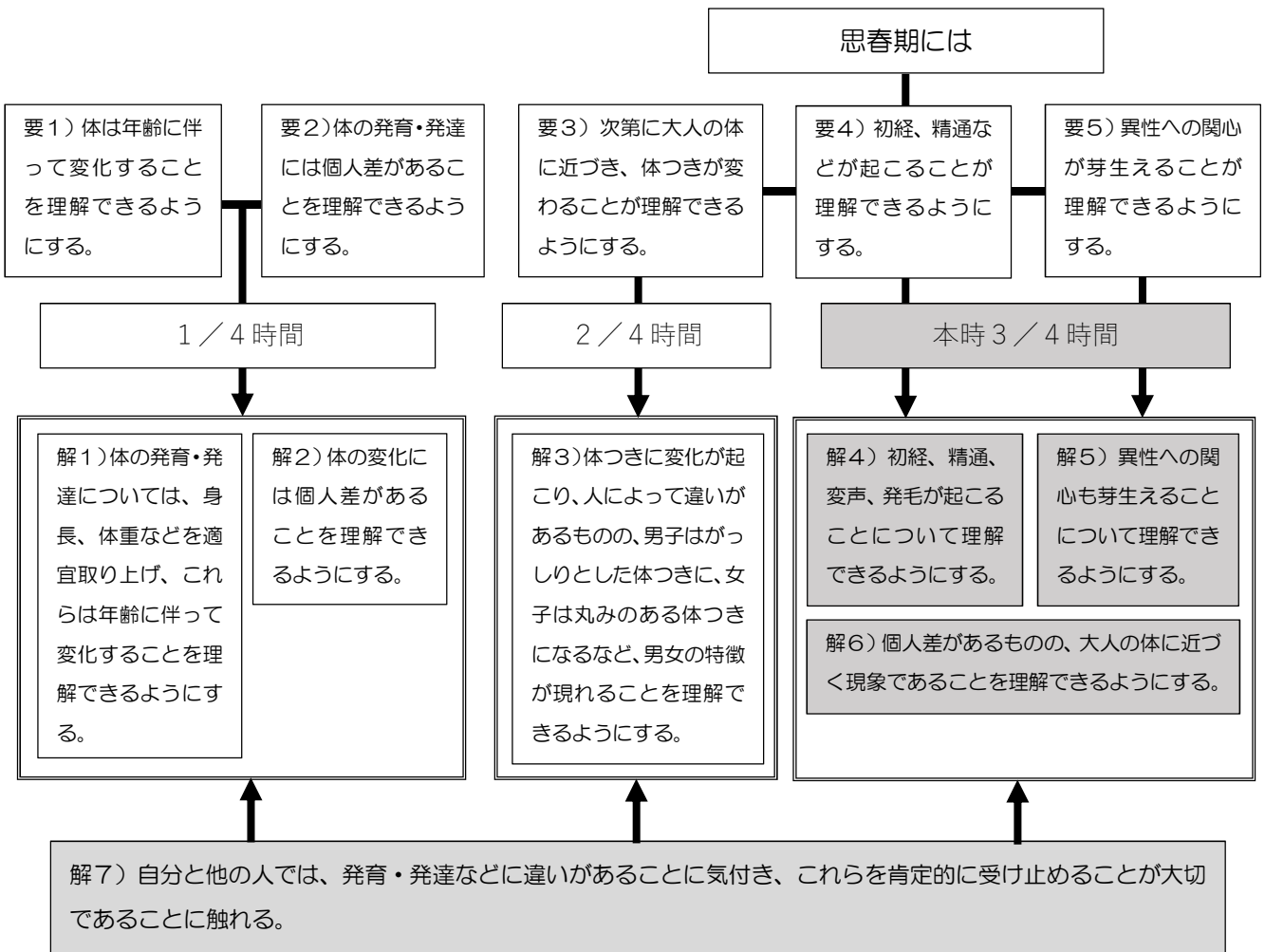
1 指導内容の系統性

中学校では、生殖にかかわる機能の成熟に伴う変化に対応した適切な行動について学習する。その前段階としての小学校段階は、体の発育・発達について、思春期の体の外に現れる変化や体の中に起こる変化、その個人差などを学習し、自分のこととして実感し、肯定的に受け止めることが大切であることに気付かせるよう配慮する。

2 指導内容の明確化

要) 学習指導要領
解) 同解説
の内容を示します。

指導に当たっては、
①発達の段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。



3 知識を活用した学習

第3時は、思春期には精通、初経が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解できるようになることを狙いとしている。学習の際には、自分事として捉え、必要感をもたせることが大切である。

【導入】(習得①)

〈マンガ吹き出しクイズ〉

男子は精通、女子は初経が起きた場면을吹き出しにし、現時点での知識を把握する。また、これらは誰もが起こることであることを説明し、自分事として捉えさせる。



〈本時の課題〉

思春期の男女の体の中ではどのような変化が起きているのだろう。

【展開1】(習得②)

〈養護教諭による説明〉

学習指導要領に則り、最低限の内容を精査し子どもたちに「精通・初経」「異性への関心」について説明する。

〈指導すべき内容〉

- 思春期には精通・初経が起こること。
- 思春期には異性への関心も芽生えること。

〈精通・初経の発生時期の説明〉

教科書に掲載されているグラフを本校の割合に置き換え、視覚的に分かるようにすることで、自分事として捉えさせる。



〈クイズ!これっておかしい?ふつう?〉

異性への関心が芽生えてきている場面の葛藤をクイズ形式にし、ちょっかいをかけたくなること等もおかしいことではないことを確認する。

「クイズ!これっておかしい?ふつう?」

- ①男の子と女の子、まざって遊ぶ
おかしい? ふつう?
- ②男の子どうし、女の子どうしだけで遊ぶ
おかしい? ふつう?
- ⋮

【まとめ】(習得③)

- 思春期には、男子は精通、女子は初経が起こる。(個人差)これは新しい命を生み出す準備。
- 異性へのきょうみがわく。

【展開2】(活用①)

〈ケーススタディ〉

「精通・初経」「異性への関心」に関する不安や悩みについて、適切なアドバイスを考え、発表する。

〈個別最適な学習～児童が自分で選択する～〉

- ・場面①②から1つ、③④から1つ選ぶことで「精通・初経」「異性への関心」を網羅できるようにする。
- ・ワークシートかタブレットか選べるようにする。

評価【知識・技能】(観察・学習カード・タブレット)

思春期には精通、初経が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【知識・技能】

第4学年1組 体育科（保健領域）学習指導案

令和5年11月29日（水） 第5校時 4年1組教室

25名

八潮市立八幡小学校

教諭 藤田晃輔（T1）

養護教諭 冨塚里江（T2）

1 単元名「体の発育と健康」

2 単元について

本単元は、「年齢に伴う体の変化と個人差、思春期の体の変化、体をよりよく発育・発達させるための生活について理解できるようにすること」、「体の発育・発達について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを表現することができるようにすること」、「体の発育について、健康の大切さに気づき、自己の健康の保持増進に進んで取り組むことができるようにすること」の3点をねらいとしている。具体的には、①身長や体重など、体は年齢に伴って変化すること、②思春期には体つきに変化が起こり、男女の特徴が現れること、③思春期には精通・初経が起こり、異性への関心が芽生えること、④体をよりよく発育・発達させるためには調和のとれた食事、適切な運動、休養、睡眠が必要であること、について理解を深める。

これから児童に起こる心や体の変化に対して、大人へと近づく大切な変化であり、個人差や男女差があること、友達と違っていても当たり前（大丈夫）であることに気づかせ、不安を抱かせないように指導し成長に対する喜びや期待をもたせたい。

3 児童の実態

(1) 知識及び技能

これまで児童は、第3学年の「健康な生活」において、健康な状態には主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていることや健康の保持増進には1日の生活の仕方が深く関わっていることなどを学習してきた。また、長期休業日や小中一貫教育の取り組みとして「歯みがきカレンダー」や「生活習慣チェック」に取り組み、歯を磨く大切さや早寝早起き、メディアの使用の仕方について定期的にふり返ることができている。

(2) 思考力、判断力、表現力等

男女の仲が良く、男女分け隔てなく関わることができている。そのおかげでペア学習やグループ学習においてもスムーズに話し合いをすることができている。一方で、発言者がかたよってしまったり、一部の児童の影響力が大きくなってしまったりしているのが現状である。

(3) 学びに向かう力、人間性等

本学級の児童の約8割が「保健の学習は好き」で9割以上が「健康は大切」であると事前アンケートで回答している。その一方で、「自分の体の成長」を感じている児童は半数もおらず、体の成長に対して不安を感じている児童はかなり少ない。従って、特に第2、3時の思春期の体の発育の学習において実感を伴った理解をすることが難しいことが考えられる。

【アンケート結果】

令和5年10月26日（木）実施

	はい	いいえ
1 保健の学習は好きですか？	19	5
2 健康は大切だと思いますか？	22	2
3 大人と子どもの体はどのような所が違うと思いますか？ 体格。背の高さ。力の強さ。体重。筋肉のつき方。骨の硬さ。食べる量。		

4	自分の体が大人に近づいているなど感じることはありますか？	10	14
4-1	それはどんな時ですか？		
	背が高くなった。胸が大きくなった。握力が強くなった。		
4-2	大人に近づいていると感じるとき、不安になったり悩んだりしましたか？	4	6
5	おうちの人と自分の体について話すことはありますか？	11	13
6	うでやわきに毛が生えてきたらはずかしいと思いますか？	13	11
7	異性の友達と仲良く過ごすことはできていますか？	18	6
8	異性の友達と話すとき、はずかしくなるときはありますか？	5	19
9	異性にちょっかいを出しておこられたことがありますか？	10	14
10	異性と仲良く過ごしたいですか？	17	7
11	自分の体について学習することは大切だと思いますか？	20	4
12	保健の学習で知りたいことはありますか？		
	健康であるためには。背が伸びる仕組み。筋肉のつき方。なぜ声が低くなるのか。自分は健康なのか。		

4 教師の指導観

(1) 知識及び技能

保健領域においては単に知識を理解させるだけでなく、いかに「自分事」と捉えかつ「必要感」をもって学習することができるかが大切である。自らの健康課題について、今後の自分がどうありたいかを考え、生活の仕方をよりよくしていこうと考え実践していくことができる資質・能力の育成を目指している。児童は大人になることは「体が大きくなること」と捉えがちだが、本単元では「体の中の成長」もあるということを伝えていく必要がある。

(2) 思考力、判断力、表現力等

本単元では、「知識を習得」し「活用」という流れで1時間の授業の流れを組んでいる。授業後半に体の発育に関わる身近な事象から課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを表現する活動を充実させる。特にケーススタディを用いて知識を活用する活動を通して、思考力、判断力、表現力を高めていきたい。

(3) 学びに向かう力、人間性等

単元を通して、体の発育には「個人差」があることを伝えていくことで、児童が感じる不安を取り除けるようにする。また、思春期の体の発育に対し恥ずかしいと感じる児童も多いが、肯定的に受け止められる態度も育てていきたい。なお、男子は男子の発育、女子は女子の発育だけを知るのではなく男子が女子の発育、女子が男子の発育を知り、お互いに理解し合える環境を作っていきたい。

以上のことから、次のような手立てを講じることとする。

- ・児童が知りたい、考えたいと思えるような教材を準備するために、事前アンケートを取り、児童の実態を把握する。また、担任とも連携し発問や声掛けの精査を行う。
- ・児童が興味関心をもつよう、養護教諭に専門的な知識の解説を行ってもらおう。
- ・恥ずかしいと感じないよう個人学習、グループ学習、全体指導の場面を精査する。また、ゲーム形式やクイズ形式も取り入れ、学級の雰囲気や和らげる。
- ・イメージしづらいことはICTを用いて説明することで理解を深めさせる。
- ・ケーススタディでは児童に身近な事象や保護者の実体験を取り入れる。
- ・身近な体験を伝えるために保護者アンケートを取り、学習に体験談等を取り入れる。

5 単元の目標

- (1) 年齢に伴う体の変化と個人差、思春期の体の変化、体をよりよく発育・発達させるための生活について理解することができるようにする。 <知識及び技能>
- (2) 体の発育・発達について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを表現することができるようにする。 <思考力、判断力、表現力等>
- (3) 体の発育・発達について、健康の大切さに気づき、自己の保持増進に進んで取り組むことができるようにする。 <学びに向かう力、人間性等>

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②思春期には体つきの変化が起こり、人によって違いがあるものの、男子はがっしりした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど、男女の特徴が現れることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③思春期には精通、初経が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達によい運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>①体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見つけている。</p> <p>②体をよりよく発育・発達させるための生活について、学習したことを自己の生活と比べたり、関連づけたりするなどして適切な解決方法を考え、説明している。</p>	<p>①体の発育・発達について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習を通して、自分の生活を振り返り、今後の自分のよりよい生活の仕方について考えることに進んで取り組もうとしている。</p>

7 単元の指導と評価計画（全4時間）本時は第3時 ※主体的に学習に取り組む態度は単元を通して適宜評価していくので、破線で示している。

時	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法		
1	<p>I ねらい</p> <p>・身長、体重などに伴う体の変化と個人差について、理解できるようにする。</p> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 身長並び順クイズを行う。 本時のねらいを確認する。 1年～4年時の身長の伸びグラフを作成する。 友達と比較して気づいたことを話し合う。 いくつかの身長の伸びを示したデータを見て、身長の伸び方について考える。 身長が急に伸びる時期や変化する量は個人差があることを知る。 学習のまとめをする。 ケーススタディを行う。 ふりかえりを行う。 <p>〈指導すべき内容〉</p> <p>・身長や体重は年齢に伴って変化すること。</p> <p>・体の変化には個人差があること。</p>				①	発言の観察 学習カード の記入	
2	<p>I ねらい</p> <p>・思春期には体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることについて理解できるようにする。</p> <p>・体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見つけ、説明することができるようにする。</p> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> シルエットクイズを行い男女の体つきの違いについて考える。 本時のねらいを確認する。 これから起こる体つきの変化について予想する。 成長発見ゲームを行う。 思春期に起こる体つきの変化について確認する。 身近な大人の体験談を聞く。 体の変化が起こる時期には男女差、個人差があることを知る。 学習のまとめをする。 ケーススタディを行う。 ふりかえりを行う。 <p>〈指導すべき内容〉</p> <p>・思春期の体つきの変化には男女差、個人差があること。</p> <p>・思春期には変声、発毛が起こること。</p>				②	①	発言の観察 学習カード の記入

③	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期には精通、初経が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解できるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 マンガ吹き出しクイズを行い体の中に変化が起こることを知る。 2 本時のねらいを確認する。 3 精通・初経について知る。 4 体の中の変化について考え、まとめる。 5 思春期には異性への関心も芽生えることを知る。 6 学習のまとめをする。 7 ケーススタディを行う。 8 ふりかえりを行う。 <p>〈指導すべき内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期には精通・初経が起こること。 ・思春期には異性への関心も芽生えること。 	③			発言の観察 学習カード の記入
4	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達により運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であることを理解できるようにする。 ・体をよりよく発育・発達させるための生活について、学習したことを自己の生活と比べたり、関連づけたりするなどして適切な解決方法を考え、説明することができるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アンケート結果から、本時のねらいをつかむ。 2 給食の献立から体がよく育つために必要な食物について知り、よりよい生活について考える。 3 よりよい成長に必要な運動の仕方について知り、よりよい生活について考える。 4 休養と睡眠の役割について知り、よりよい生活について考える。 5 学習のまとめをする。 6 ふりかえりを行う。 <p>〈指導すべき内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体をよりよく発育・発達させるためには、体の発育・発達により運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であること 	④	②	①	発言の観察 学習カード の記入


8 本時の学習と指導（3／4）

（1）ねらい

- ・思春期には精通、初経が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <知識及び技能>

（2）資料及び準備するもの ・ワークシート ・掲示資料 ・タブレット

（3）展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点（指導○ 評価◆）	
		T 1	T 2
導入 （つかむ・見通す） 5分	<p>1 思春期の男の子、女の子の体の中の変化について考える。</p> <p>マンガ吹き出しクイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は精通、女子は初経が起きた場面を吹き出しにし、現時点での知識を把握する。 	<p>T 1 ○スクールタクトでマンガ吹き出しクイズを提示し、男女それぞれなぜ困っているか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹き出しの答えは発表させず、児童が答えたものを教師がいくつか選んで伝える。 ・まったく想像がつかなければ未記入でもよいことを伝える。 	<p>T 2 ・誰でも起こることだということを伝える。</p>
展開 （考える） 15分	<p>2 本時のねらいを確認する。</p> <p>課題 思春期の男女の体の中ではどのような変化が起きているのだろう。</p>	<p>T 1 ・男女が互いの体の変化の仕方に理解を深めることが大切だと伝える。</p>	
	<p>3 精通・初経について知る。</p> 	<p>T 2 ○「精通」「初経」の意味を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精通、初経が起こる理由は命を生み出すためのすばらしいことだと伝える。 ・生命の誕生（精子卵子）は5年で習うので知りたければいつでも質問しに来て良いことを伝える。 ・射精、月経は一回で終わりではないことを伝える。 ・これから起こる人もいて、心配することはなく、起こることは正常であることを伝える。 ・起こる時期には個人差があることを伝える。 	<p>T 1 ○精通や初経が起こる年齢を、視覚的に分かるグラフで説明する。</p>
	<p>4 最初の吹き出しにまとめる。</p>	<p>T 1 ○マンガ吹き出しクイズに戻り、養護教諭の話から学んだ言葉（精通、初経）を教師が代表して入力する。</p>	
	<p>5 異性への関心の芽生えについて考える。 「これっておかしい？ふつう？」</p>	<p>T 1 ○異性に対してのもつ様々な気持ちは、どれも間違っていないことを伝える。</p>	

6 学習のまとめをする。

- ㊦ ○思春期には、男子は精通、女子は初経が起こる。(個人差)
これは新しい命を生み出す準備。
- 異性へのきょうみがわく。

7 ケーススタディを行う。

- ①まさやさんが「おしっこだと思ったらなんか白いねばねばしたのが出てきた。これって病気かな」と悩んでいます。
- ②りょうすけさんが「きれいじゃないのに女の子にちょっかいだしちゃうんだよなー」と悩んでいます。
- ③さとみさんが「体の変化が私だけぜんぜん起きなくて、、、取り残されているみたいで心配」と悩んでいます。
- ④ふじこさんが「のりあき君と遊びたいけど、からかわれそうだから、なんだかはずかしいな、、、」と悩んでいます。



8 ふり返りを行う。

◆思春期には精通、初経が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【知識・技能】

- △「努力を要する」状況 (C) と判断される児童へ指導の手立て
 - ・「精通」「初経」「異性への興味」の意味についてもう一度ふれ、誰しも起こることを再確認する。それを踏まえた上でケーススタディにおいてアドバイスするように促す。
- ◎「十分満足できる」状況 (A) と判断される児童の具体的な姿
 - ・ケーススタディ①②において「精通」「初経」という言葉を用いて説明し、さらに個人差があるということにも言及している。
 - ・ケーススタディ③④において「異性への関心」が芽生えることは悪いことではないことを説明している。

T1 ○①②から1つ③④から1つできそうな方を選ぶよう指示する。

- ・ワークシートに直接書いてもよいし、タブレットで打ってもよいことを伝える。

T1 ・いつでも担任や養護教諭に相談してよいことを伝え、肯定的に終われるようにする。

まとめ (まとめる) (深める) 25分

9 板書計画

(黒板)

課題 思春期の男女の体の中ではどのような変化が起きているのだろう。

男性器のつくり

精子 (長さ0.05~0.07mm)

女性器のつくり

卵巣 (直径約0.1mm)

- 「クイズ!これっておかしい?ふつう?」
- ①男の子と女の子、まざって遊ぶ
おかしい? ふつう?
 - ②男の子どうし、女の子どうしだけで遊ぶ
おかしい? ふつう?
 - ③男の子と女の子で同じ考えをもつ
おかしい? ふつう?
 - ④男の子と女の子でちがう考えをもつ
おかしい? ふつう?
 - ⑤異性にちょっかいをだしちゃう
おかしい? ふつう?
 - ⑥異性のうわさ話をする
おかしい? ふつう?

㊦ 思春期には、男子は精通、女子は初経が起こる。(個人差)
異性へのきょうみがわく。

(TV)



精通 小学生から高校生までのアンケート (50人)



初経 小学生から高校生までのアンケート (30人)

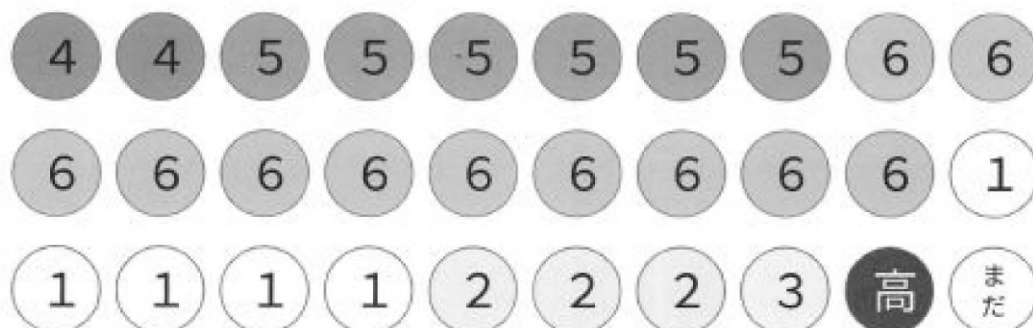




精通 小学生から高校生までのアンケート (50人)



初経 小学生から高校生までのアンケート (30人)



体の中にあられる変化



④ ○思春期には、男子は（ ））、

女子は（ ））が起こる。【個人差】

○（ ））へのきょうみがわく。

おなやまいけつコーナー

りょうすけさん

おしっこだと思っただけならなんか白いねばねばしたのが出てきた。これって病気かな？



さとみさん

体の変化が私だけじゃありません起きなくて、、、取りのこされているみたいで心ばいです。



まさやさん

きらいじゃないのに女の子にちよっかいただしちゃうんだよねー。これって変なのかな？



ふじこさん

のりあき君と遊びたいけど、からかわれそうだから、なんだからはすかしいな、、、



ふりかえり（これからおかわる体の変化について、今の気持ちを書いてみよう！）

名前（

第3時

今日はみんなの体の中で、これからどんな変化が起きるのかお話をしますね。初めて聞く言葉も出てくるので今日も言葉のカードとイラストで〇〇先生が示してくれるので目で確認しながら聞いてください。

まず男の子です。

男の子は思春期になると、「精子」がつくられるようになります。精子は、男の人が持つ赤ちゃんのもとです。これが白っぽい液体と一緒に体の外に出ることがあって、これを「射精」といい、初めての射精を「精通」といいます。寝ている間に起こることもあるので知らないと、おねしょとか、病気かもと心配になりますね。覚えておきましょう。

次に女の子です。

女の子は将来赤ちゃんを産むことができるのは知っていますね？この準備が体の中で始まります。思春期になると「卵子」という女の子が持つ赤ちゃんのもとが育って「子宮」という赤ちゃんが育つところに運ばれます。でも卵子は24時間くらいしか生きることができないのでこの間に「精子」と出会わなければ、卵子は壊れてしまい子宮の中の血液などと一緒に体の外に出されます。これを「月経」といいます。生理という人が多いです。初めて起こる月経を「初経」といいます。卵子は月に1回くらいの割合で育って子宮へ運ばれていくので「月経」は月に1度くらい起こります。

男の子の精通と女の子の初経は、新しい命を生み出すという、と一つても大切な準備が体の中で始まりましたよというサインです。だから、精通や初経があったら、それまで以上に自分の体を大切にしてほしいなと思います。そして精通や初経が起きる時期、気になるとは思いますがそれは人それぞれ、「個人差」があります。

ここまでの学習で、みんなは身長が伸びて体が大きくなるだけでなく、体の外と中で大人に向かって大事な変化が起きることは分かったと思いますが、さらにもう一つ変化していくところがあります。それは心です。体が変化することで男女の「性のちがい」に気づくようになると、異性：男子から見た女子、女子から見た男子のことを「異性」といいますが、異性のことが気になるようになります。好きだなとか仲良くしたいな～とか、逆に悪口やいじわるしてみたくなったりする人もいます。それから、自分と周りの人を比べて考えこんだりするようになる人もいます。こういう心の変化が起きるのも、自然なことで、心の変化にも個人差があります。大切なのは、ひとりひとり、違いがあることを知って、お互いを思いやる気持ちを持つことです。これからみんなは心も成長していきます。

(中学校部会)

令和5年度埼玉県「性に関する指導」(保健教育) 授業研究会開催要項

1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらに関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科(保健体育科)の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和5年11月16日(木)

4 会 場 志木市立志木中学校 志木市柏町3-2-2

5 参加対象者 (1) 県内公立小・中学校、義務教育学校、特別支援学校の教諭(体育科・保健体育科担当)、養護教諭等
(2) 各市町村教育委員会の指導主事

6 日 程

(1) 受 付 13時00分～ (体育館)
(2) 開 会 13時20分～13時35分 (体育館)
(3) 公開授業 13時40分～14時30分 (体育館)
(4) 研究協議 14時50分～16時30分 (体育館)

7 公開授業

学年	授業者	単元名
1年	市橋 亜美 教 諭 (T1)	(2) 心身の機能の発達と心の健康 (イ) 生殖に関わる機能の成熟
	力丸真智子 養護教諭 (T2)	

8 指導者及び役員

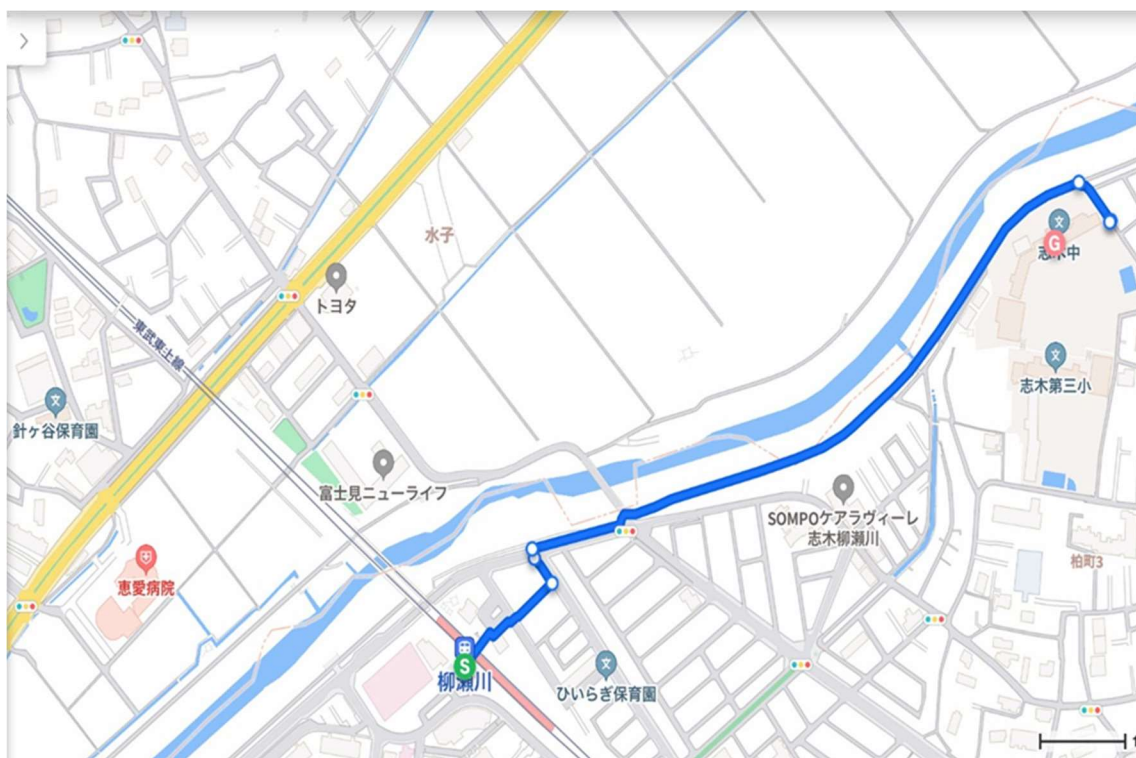
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主 幹	脇田 一亮
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	阿久津広真
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	澤村 文香
志木市教育委員会学校教育課	指 導 主 事	木内 芳公

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼玉大学教育学部教授	委員長	戸部 秀之
川口市立並木小学校校長	副委員長	岩澤奈々子
春日部市立東中学校教諭	委員	江夏 彩香
所沢市立小手指中学校養護教諭	委員	三好明日美
毛呂山町立泉野小学校教諭	委員	綿貫 聡
八潮市立八幡小学校教諭	委員	藤田 晃輔
本庄市立藤田小学校養護教諭	委員	塩澤美保子
県立北本高等学校教諭	委員	川尻鈴ノ介
県立進修館高等学校教諭	委員	梨本 雄太
県立和光国際高等学校養護教諭	委員	斉藤美智子

9 参加について

- ・体調のすぐれない方は、当日の参加を遠慮するようお願いします。
- ・上履きと下足入れをお持ちください。
- ・駐車スペースには限りがございます。できる限り公共の交通機関を御利用ください。
- ・公共交通機関で会場校に来校する際には、以下の方法をお願いします。



1 指導内容の系統性

小学校では体の発育・発達については、思春期には体つきの変化が現れ、初経、精通が起こる、異性への関心が芽生えることなどを学習している。また、年齢に伴う体の変化には個人差があることを学習している。

2 指導内容の明確化

ア 知識及び技能

イ 思考力、判断力、表現力等

要)：学習指導要領
解)：同解説
の内容を示します。

指導に当たっては、
①発達段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。

要1) 思春期には、

1/3時間

2/3時間

要2) 内分泌の働きによって生殖機能に関わる機能が成熟することが理解できるようにする。

要3) 成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要になることが理解できるようにする。

解1) 思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることを理解できるようにする。

解2) 身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。

本時 3/3時間

要3) 心身の機能の発達について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。

解3) 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。

3 知識を活用した学習 (3/3)

第1時では、小学校で得た知識をもとに、思春期には下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きによって生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、月経や射精が起こること、それにより妊娠が可能になることを学習した。第2時では、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて学習した。「生命の安全教育」をもとに心と体の距離について得た知識をもとに、性に関する適切な態度や行動を選択し、実践する力を身につけることができることを目指している。

導入

前時までの学習内容から、性との向き合い方で大事なことを黒板とiPadで提示する。
日常生活で具体的に困った場面の話を絡めながら本時の学習課題を提示し、よりよい関わり方について課題意識をもつ。前時までに学習した、人とのよりよい関わり方のポイントを全体で確認をし、本時の課題の解決策を考える。

【本時の課題】 異性を尊重する態度を身に付け、より良い人間関係について考えよう。

展開1

習得①

ロールプレイ学習でパートナー同士のやりとりを行い、導入で確認したポイントを活用しながら実践することで、人とのよりよい関わり方の理解を深める。

方法①

自分の気持ちをパートナーにうまく伝える方法を考える。ペアでロールプレイ学習を行い、やりとりを実践する。ペアでロールプレイ学習を振り返り、実際にやりとりをして感じたことや気付いたことを、ロイロノートにまとめる。

展開2

習得②

自分の活動の振り返りと、上手な人の動画を見ることで、他者の考え方や人とのよりよい関わり方に気付き、新たな知識を得ることで、深い学びに繋げる。

方法②

上手なやりとりを見て、よかった点や自分たちとの違いをペアで話し合い、具体的な改善策をロイロノートにまとめる。

評価【思考・判断・表現】(ロイロノート、動画、観察)

性意識の変化について、課題を発見し、解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったりロイロノートに記述したりして筋道を立てて伝え合っている。

まとめ

習得③

「性に関する指導」の授業を通して学んだことや今後の自分の生活への活かし方について、キーワードをもとに理解し、深い学びに繋げる。

方法③

「性に関する指導」の授業3時間分のまとめを各自でロイロノートに考えを記入し、まとめる。自分事としてよく考えまとめられているものをクラス全体で共有する。

保健体育科（保健分野）学習指導案

令和5年11月16日（木）第5校時 体育館

第1学年2組 34名

志木市立志木中学校 教諭 市橋 亜美（T1）

養護教諭 力丸 真智子（T2）

1 単元名「心身の機能の発達と心の健康」（イ）生殖に関わる機能の成熟

2 単元について

中学生期は、身体的な成熟に伴う生殖機能の発達に応じて性衝動が生じたり、自己の認識や異性への関心などが高まったりする時期である。また、体の変化が著しく個人差も大きいことから、その変化に戸惑い、不安や悩みをもつようになる時期でもある。本単元では、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経がみられ、妊娠が可能になることを科学的に理解する。また、性的な発達に対応して、異性の尊重、性情報への対処など、性に関する適切な態度や行動の選択が必要であることを理解し、体や心の変化を肯定的に受け止め、自分や周りの人を大切に思いやる気持ちを育てたい。

3 生徒の実態

（1）知識及び技能

小学校4年生の保健の授業で「思春期の体の変化」の単元で子供から大人への体の変化や男女の体の違いについて学習している。また、ニュースやネットなどで言葉を見たことがある生徒もおり、知識の定着については差がある。

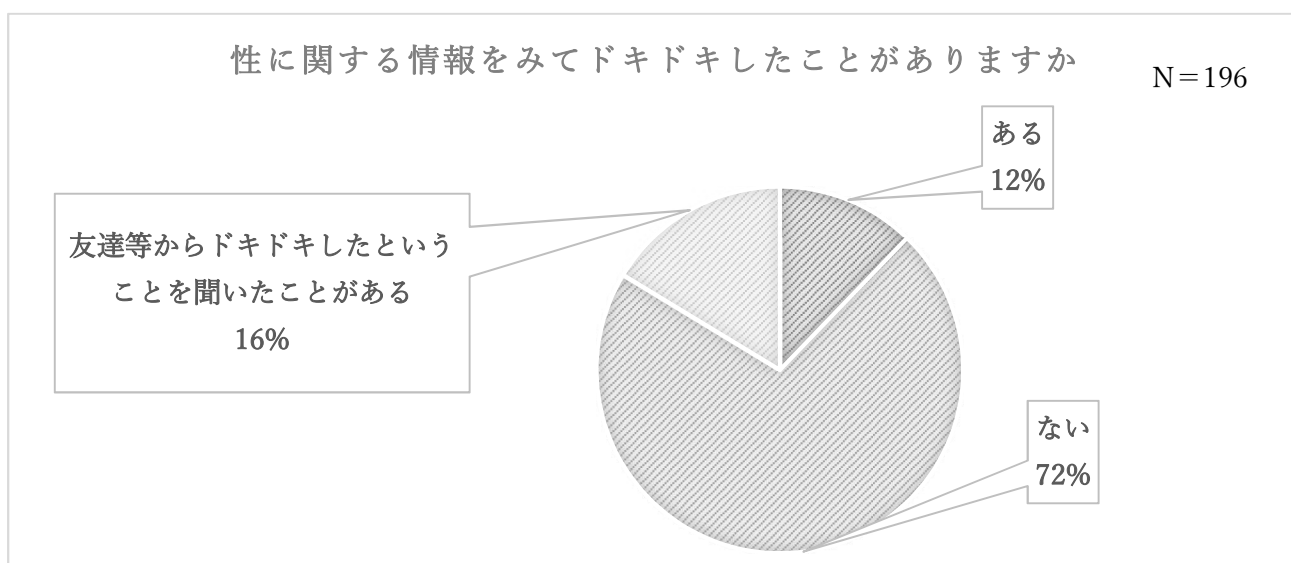
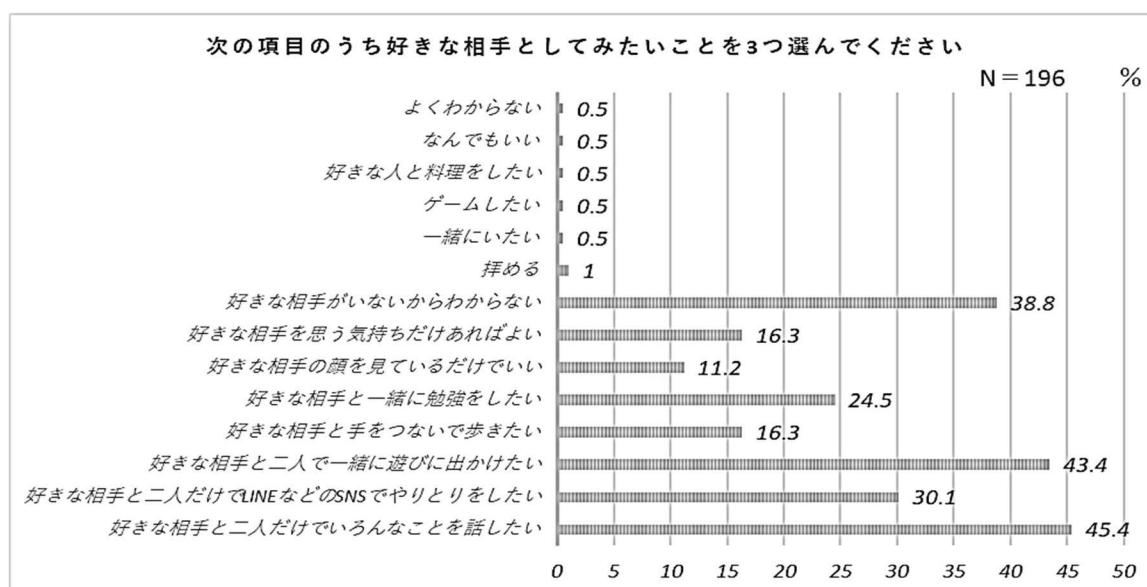
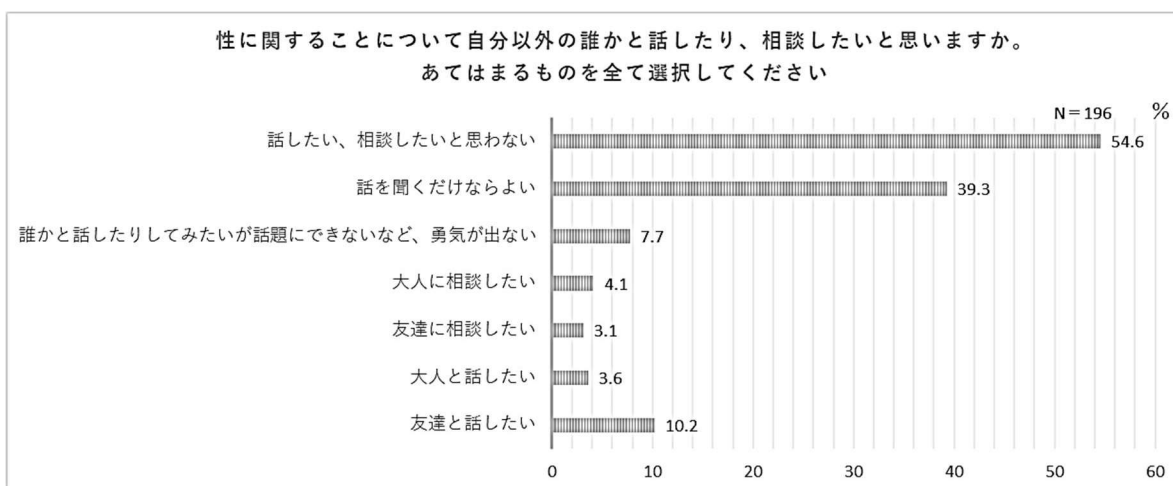
（2）思考力、判断力、表現力等

教師から出された課題の解決方法を見付ける力はあるが、自分で課題を見付けたり、自分事として考えることは苦手である。性についてはまだ興味をもっておらず、性意識に対する向き合い方や実際に自分が性的欲求などを感じた時の適切な行動を選択することができる力はまだ備わっていない。

（3）学びに向かう力、人間性等

授業に対して真剣に取り組む生徒が多いが、発言には消極的である。性に関する話について「話したり、相談したりしたいと思わない」が約55%いることから、話題にしたり誰かに相談したりしづらいついて感じている生徒が多いため、意見や考えの共有の仕方に配慮が必要である。

【生徒対象 事前のアンケート結果】



5 単元目標

(1) 思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること、身体が成熟に伴う変化に対応した適切な態度や行動の選択が必要となることについて理解することができるようにする。

〈知識及び技能〉

(2) 心身の機能の発達と心の健康について課題を発見し、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。

〈思考力、判断力、表現力等〉

(3) 心身の機能の発達と心の健康について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>①生殖に関わる機能の成熟について、習得した知識を自他の生活に適用したり、解決方法を考えたりして、適切な方法を選択し、それらを伝え合っている。</p> <p>②性意識の変化について、課題を発見し、解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったりワークシートに記述したりして筋道を立てて伝え合っている。</p>	<p>①心身の機能の発達と心の健康について、課題解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとしている。</p>

7 単元の指導と評価の計画（全3時間）本時は○印

時	学習のねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることについて、理解できるようにする。 ・生殖に関わる機能の成熟について、習得した知識を自他の生活に適用したり、解決方法を考えたりして、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本時のねらいを確認する。 2 生殖機能の成熟について理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となること。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 3 本時の振り返りとまとめ 	①	①		ロイロノート 観察
2	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解することができるようにする。 ・心身の機能の発達と心の健康について、課題解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとすることができるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前時の復習、本時のねらいを確認する。 2 性意識の変化と性情報への対処について理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 3 「生命(いのち)の安全教育」に関連付けた内容を取り上げ、理解を深める。 4 本時のまとめとまとめ 	②		①	ロイロノート 観察

③	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性意識の変化について、課題を発見し、解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったりロイロノートに記述したりして筋道を立てて伝え合うことができるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前時の復習、本時のねらいと学習内容を確認する。 2 ロールプレイ学習を行う。 3 「性との上手な向き合い方」について全体でまとめる。 4 授業を通しての自分の考えをロイロノートに記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 5 本時のまとめとまとめ 	②	ロイロノート 動画 観察
---	---	---	--------------------

8 本時の学習と指導（3／3）

（1）ねらい

- ・性意識の変化について、課題を発見し、解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったりロイロノートに記述したりして筋道を立てて伝え合うことができるようにする。

<思考力、判断力、表現力等>

（2）資料及び準備するもの

大型テレビ、ホワイトボード、iPad、教科書

（3）展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意事項○、評価規準◆ 教諭 T1、養護教諭 T2
導入（5分）	1 前時の復習、本時のねらいと学習内容を確認する。	<p>T1 ○前時に学習した性意識と性情報への対処について復習する。</p> <p>○復習の際、生徒タブレットに資料を提示する。</p> <p>○本時の課題を黒板及び生徒タブレットにて提示する。</p> <p>T2 ○生徒の家庭環境や実情をあらかじめ把握し、個別に相談できるようにするなど配慮する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【学習課題】異性を尊重する態度を身に付け、よりよい人間関係について考えよう。</p> </div>

2 ロールプレイ学習を行う。
 ・ある交際中の男女（以下カップル）のやりとり（※1 下記参照）の動画を見て、問題点と取るべき対応を個人でまとめる。

ロールプレイの流れ

- ・2人1組を作る。
- ・カップルを想定して行う。
- ・役Aは自分の気持ちを強要する役。
- ・役Bは強要に対し、相手の気持ちを考え、自分の気持ちを上手に伝える役。
- ・役Bが気持ちを強要してくる相手への対応の仕方を練習できるよう、4往復～6往復程度のやり取りをする。
- ・やり取りが終わったら、役Bは伝え方で工夫した点をペアに伝える。
- ・役を交代し、同じ流れで行う。
- ・自分が役Bのやり取りを自分のタブレットで撮影し、ロイロノートで提出する。
- ・ロールプレイが終わったペアは活動を通しての感想をロイロノートに記入し、提出する。

3 「性との上手な向き合い方」についてペアで考えた意見を全体で共有し、ロイロノートを使ってまとめる。

- ・自分が相手を傷つけたり、自分が傷ついたりしないように行動することについてペアで意見をまとめる。

4 授業を通して、今後の生活にどのように生かしていくのか自分の考えをまとめ、ロイロノートで提出する。

T2 ○動画を流し、カップルのやり取りを見させる。
 ○動画を見ながら、改善点や取るべき対応についてロイロノートに記入する。

T1 ○2人1組のペアを作らせる。
 ○セリフカードを提示し、役Aと役Bは状況によってセリフが選べるようにロイロノートで提示する。
 ○役Bは相手を思いやりながら自分の気持ちを伝えられるようにする。


T1 T2 ○助言が必要なペアに支援を行う



T1 T2 ○ロールプレイ前に記入した改善点や取るべき行動を行うことができたか、実際にやってみて感じたことを記入させる。

T1 ○役Bが相手を受け入れつつ、自分の意見をはっきり伝えられているペアの動画を全体で視聴する。ロールプレイを通して自分事として考えるために、よかった点や自分のペアとの違いについてペアで話し合い、ロイロノートに記入させる。

T1 ○前時の内容と本時の学習を通して、今後の生活において学びをどのように活かし、自分が性とどう向き合うかについての考えを、キーワードをもとにまとめさせる。

<p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> 身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。 	<p>T2○単元を通して気付いたことをロイロノートで提出させる。</p> <p>○提出された気付いたことの中で、中学生生活における性との向き合い方の視点のある意見を発表させる。</p> <p>◆性意識の変化について、課題を発見し、解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったりロイロノートに記述したりして筋道を立てて伝え合っている。 (ロイロノート、動画、観察)【思考・判断・表現】</p> <p>△「努力を要する」状況（C）と判断される生徒への指導の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> より良い人間関係のポイントを確認させる。 ロールプレイで気付いたことを確認させる。 <p>◎「十分満足できる」状況（A）と判断される生徒の具体的な姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業を通して学んだことを、今後の生活にどう生かしていくか具体的な考えをロイロノートに記入することができる。
<p>まとめ (7分)</p> <p>5 単元のふりかえりとまとめをする。(※2下記参照)</p> 	<p>T2○提出された個人の考え・意見から、性との上手な向き合い方について自分のこととしてとらえ記入できているものを紹介する。</p> <p>○本単元の内容を受けて、自分を大切にし、相手も尊重しながら生活していけるよう伝える。</p> <p>○学んだことを家庭で保護者の人と話し、保護者に感想を提出してもらう。</p>

※1カップルのやり取りの内容

2人でデートをしていたが、時間が遅くなったのでBさんは「もう帰ろう」と切り出した。すると、Aさんは「一緒に居たくないのか」「一緒に居たくないならもう別れよう」と怒鳴った。Bさんは別れるという言葉に困ってしまい、その後「帰ろう」と再度切り出すこともできず遅くまで一緒に遊んだ。

※2 養護教諭のメッセージセリフ

いま皆さんは思春期という時期にいます。この3時間を通して、思春期というキーワードは何度も出てきました。私を見てください(片足で案山子のように立って見せる)。どうなっていますか？みんなの心と体のバランスは、こんな風に1人では安定して立ってられない時期で、不安定な時期でもあるのが思春期といわれています。イライラしたり、感情的になってしまったり、不安をいつも以上に感じてしまったりする時期です。ものすごく様々なことに悩んだり、考えるすぎるくらい考えてしまう時期でもあります。ここまでの3時間の授業の中で、自分の気持ちを考えたり、知ってみたり、相手の気持ちを想像してみたりしてきました、非常に難しかったと思います。難しいなりに、今の自分自身を見つめ、よく考えることができたと思います。このような不安定な時期を生きている皆さんですが、このように、誰かの支えがあれば、この不安定な思春期もなんとか倒れず立っていられます。(もう一度、かかしのように片足立ちをして、T1の先生に支えてもらい、しっかり立てるところを見せながら)



これから、皆さんはもっともっと体も大きく成長して、伴って心も成長していきます。中2・中3と進み、悩みの中身も変化するでしょう。初めての進路選択、受験も経験しますね。でも、今見せたように、誰かの支えがあれば、自分の足で、しっかりと立っていられます。自分で進んでいけます。みんなの周りには沢山の大人、ご家族、先生がいますね。ぜひ、大人を頼ってください。特に、ご家族は毎日皆さんと共に生活もしていますから、皆さんのことを一番よくわかっていると思います。そして心配もしていると思います。困ったときはぜひ、頼って、力を借りてください。

今日、タブレットを持ち帰り、ここまでの授業の資料をご家族に見せて、一緒に話しあってみてください。話題にして、ぜひ性について、今を生きることについて、一緒に考えてみてください。

最後に。

保健室を利用したことがない人が、このクラスには沢山いると思います。けがしたことがないし、行く用事がないという理由から、保健室を利用したことがないかもしれません。でも、保健室は心のことや自分のことについて話しをしたり、相談をしても良い場所です。保健室は、けがや病気でしか行ってはいけないという場所ではありません。身体や心、成長の悩みはもちろん、身体や心のこと、考えていることについて、ちょっと話したいなという時でも気軽に保健室を利用してください。いつでも聞きます。自分1人で悩みを抱えることなく、保健室もうまく活用しながら、この先の様々なことを乗り越えて頑張っていってほしいと思います。

9 板書計画

めあて

異性を尊重する態度を身に付け、よりよい人間関係について考えよう。

性との向き合い方で大切なこと

- ・相手を尊重する。
- ・個人差を理解する。
- ・自分を大切にする。
- ・お互いの気持ちを伝える。

よりよい関わり方

- ・いやだと感じたことは、いやだと言う
→自分の気持ちを伝えるべき時は、はっきりと言う
- ・相手の気持ちを受け入れる
→「そうだよね」「同じ気持ちだよ」
- ・いやなときは、相手と距離をおく

10 資料

役A セリフカード

気持ちを強要するセリフ

- 「私（ぼく）のこと好きじゃないの？」 「私（ぼく）は一緒に居たいのに」
「わがまま言うなよ」 「君のことが大好きだから一緒に居たいのに」
「好きならもっと一緒に居ようよ」 「なんで気持ちをわかってくれないの？」
「一緒に居たくないなら別れよう」 「別の子と遊ぶからもういいよ」

※相手の気持ちや考えに納得したら、気持ちを受け入れてあげよう。

役B セリフカード

相手に共感するセリフ

- 「そうだよね」 「気持ちわかるよ」 「○○だよね」

自分の気持ちを伝えるセリフ

- 「だけど、○○（理由や気持ち）だからさ」
「私（ぼく）は、○○（理由や気持ち）なんだ」

(高等学校部会)

令和5年度埼玉県「性に関する指導」授業研究会（高等学校）開催要項

1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらに関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科（保健体育科）の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和5年11月22日（水）

4 会 場 県立北本高等学校
北本市古市場1-152

5 参加者 県内公立高等学校及び特別支援学校の教諭（保健体育科等）、養護教諭等
※特に、採用後1～3年目で、毎年開催される本授業研究会にこれまで一度も参加したことのない者（科目保健授業担当者）の参加について、御配慮願います。

6 日 程

- | | | |
|----------|---------------|-----------|
| (1) 受付 | 13時10分～ | (会議室) |
| (2) 公開授業 | 13時30分～14時20分 | (多目的室4) |
| (3) 全体会 | 14時35分～14時55分 | (会議室) |
| (4) 研究協議 | 15時00分～16時30分 | (会議室) |

7 公開授業

学年	授業者	単元名
2年	川尻 鈴ノ介 教諭	(3) 生涯を通じる健康 (ア) 生涯の各段階における健康 ⑦思春期と健康

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	参事兼課長	松中 直司
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主任指導主事	遠井 学
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	坂上三四郎
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	龍野 雅美

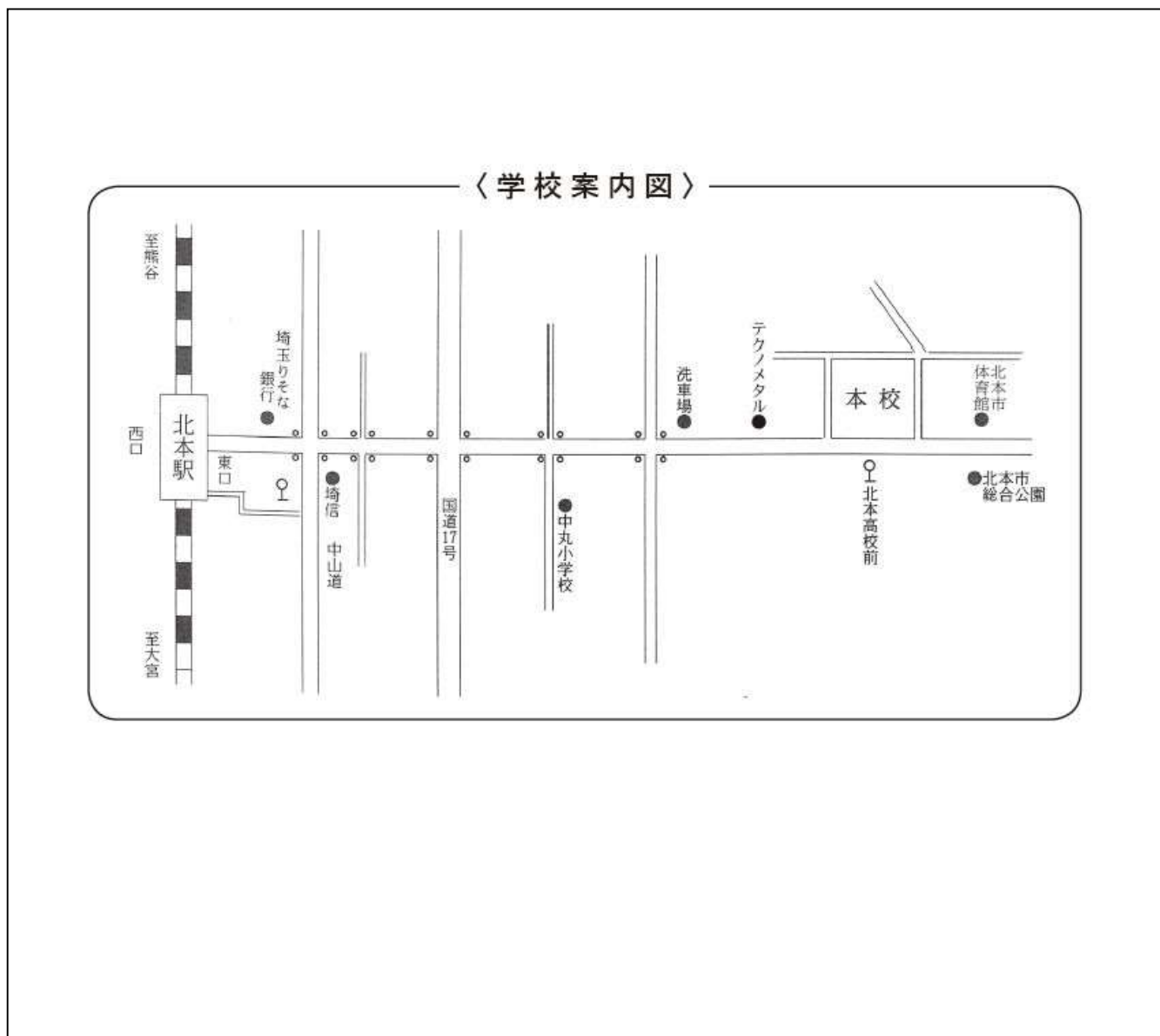
埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼玉大学教育学部教授	委員長	戸部 秀之
川口市立並木小学校校長	副委員長	岩澤奈々子
県立進修館高等学校教諭	委員	梨本 雄太
県立和光国際高等学校養護教諭	委員	斉藤美智子

9 参加について

- ・体調のすぐれない方は、当日の参加を遠慮するようお願いします。
- ・上履きと下足入れをお持ちください。
- ・駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関で来校願います。
- ・お車でお越しの際は、北本総合公園に駐車してください。
- ・会場校に来校する際には、以下の方法でお願いします。

県立北本高等学校への御案内



1 指導内容の系統性

中学校では、「心身の機能の発達と心の健康」において、年齢に伴って身体の各器官が発育し、機能が発達することを呼吸器、循環器を中心に取り上げるとともに、発育・発達の時期や程度には個人差があること、また、思春期は、身体的には生殖にかかわる機能が成熟し、精神的には自己形成の時期であることなどを学習している。

2 指導内容の明確化

要) 学習指導要領
解) 同解説
の内容を示します。

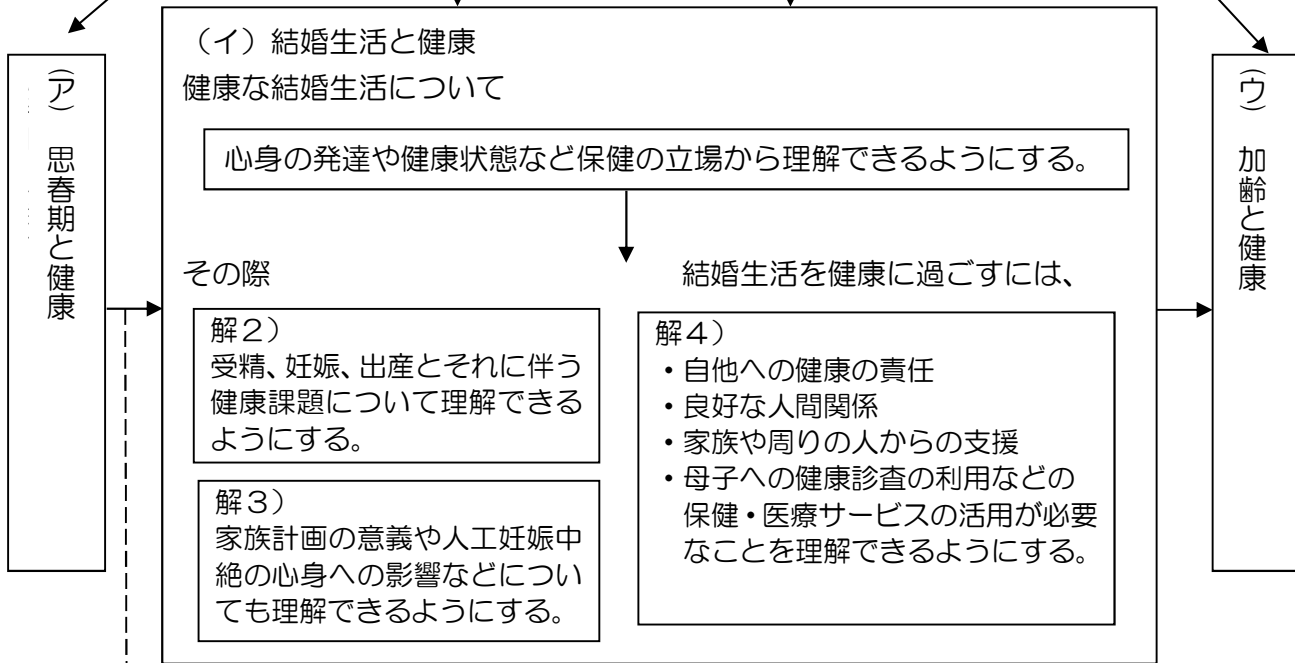
要1) 生涯の各段階において健康についての課題があり、

指導に当たっては、
①発達段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。

要2) 自ら適切に対応する必要があることが重要であることについて理解できるようにする。

要3) 我が国の保健、医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。

要4) 生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていることが理解できるようにする。



※「現代社会と健康」
解1) 現代の感染症とその予防の性感染症
エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できるようにする。

《指導案作成》
9 / 10 時間

3 知識を活用した学習活動（9／10時間目）

性に関する指導について、正しい理解をもとに今現在あるいは将来に生かすことを目的に、自分事として捉えることができるよう、ケーススタディや話し合い活動などを積極的に取り入れていく。最終的には健康と命の大切さに触れることはもちろん、性についての学習にとどまることなく、自他の健康に関心を持ち、その課題を解決し、明るく豊かで活力ある生活を営む資質や能力を育てることをゴールとする。そのための授業として本時の学習内容を設定し、知識を活用した学習活動とする。

<導入>

前時までの復習

各単元で学びえた知識を再度確認し、展開につなげることとする。

<展開1>

習得① ※確認

前時までに学んだことを生かして、現状・課題を明らかにする。

性に関する課題解決のためにできることを考えるための次の発問につなげる。

習得②

※「生命(いのち)の安全教育」の視点から改めて性についての見識を深めることの意義を確認する。

<展開2>

活用①

課題 「日本における性課題を解決するために、
私たちができることはなんだろう。」

発表をうけてポイントを再度認識するとともに、社会において性に関する課題あることに気づかせる。課題については、性被害・性暴力件数、人工妊娠中絶の件数、性感染症に罹患率などグラフで示す。

課題を明らかにした後に、課題解決のための方策を各班で話し合う。

<展開3>

まとめ

課題解決のための方策について発表をさせる。また性に関する指導全体の振り返りをさせ、ワークシートに感想を記入させる。※発表や提出されたワークシートをもって、学習の評価と照らし合わせ、指導と評価の一体化を目指す。

評価①(知識・技能)

【観察・ワークシート】

思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて理解したことを言ったり書いたりしている。

評価②(思考・判断・表現)

【観察・ワークシート】

生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。

評価①については、習得①の場面で、評価②は活用①でそれぞれ観察・記録に残す評価として行い、最終的には授業中の観察記録と生徒が提出したワークシートの記述を見て評価するようにする。

保健体育科（科目保健）学習指導案

令和 5 年 11 月 22 日(水) 第 5 校時 多目的室④
第 2 学年 5 組 男子 20 名 女子 9 名
指導者 教諭 川尻 鈴ノ介

1 単元名 「生涯を通じる健康」(ア) 生涯の各段階における健康

2 単元について

「生涯を通じる健康」(本単元)では、生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解することが求められている。同時に、生涯の各段階や労働における健康課題の解決に向けて思考・判断・表現できるようにする必要があることから、本単元では、以下の内容を中心として構成される。

- ① 思春期、結婚生活、加齢の各段階において、健康、行動、生活などに課題や特徴があること
- ② また労働の形態や環境の変化に伴った健康及び安全の課題があること
- ③ 自他の健康管理、安全管理及び環境づくりを行う必要があること

以上を踏まえた上で、学習指導要領の「性に関する指導」の内容については、(ア) 生涯の各段階における健康の時数を 8 と定めることとし、各段階における理解をより一層深められるよう充当する。また、学習のつながりを鑑み、「現代社会と健康」(イ) の現代の感染症とその予防の性感染症についても本年度時数 2 として取り扱うものとし、時数は計 10 となる。各年代における精神面の成熟や正しく性を理解するなかで今後の意思決定・行動選択につなげていくことはもちろん、個人の取組に限らず、性に関する指導の普及、正しい情報の発信など社会的な対策や環境づくりが必要であることを理解することが本時のメインとなる。

3 生徒の実態

(1) 知識及び技能

小学校、中学校段階における性に関する指導を受けてきた生徒がおおむね見られる。一方で、学習カードや授業中の発言より内容や基本的知識について曖昧な生徒がいたり、誤った情報を鵜呑みにしたりする生徒が多い印象がある。生徒の理解を深める授業を展開するための工夫・準備が必要である。

(2) 思考力、判断力、表現力等

普段の授業では、自分の考えを仲間に共有したり、発表の機会を意図的に増やしたりするなど思考・表現力等の向上を図ってきた。自己や社会の課題発見、解決に向けた話し合いなど、対話的な学習にも前向きに取り組むことができる生徒が多いが、一方で、対話や他者とのかかわりを苦手とする生徒も一定数いる。指導においては、興味・関心を引き出しつつ、安心して学ぶことができる環境づくりが重要である。

(3) 学びに向かう力、人間性等

明るい雰囲気があり、素直な生徒が多いクラスである。保健の学習にも前向きに取り組もうとする生徒が多い。身近な話題など自分事として捉えられるような課題に対する学習意欲は高い。一方で、学びに向かう意識についての生徒間の差が大きいことから、消極的な生徒にも前向きに取り組める学習課題とするなどの配慮が必要である。

4 教師の指導観

(1) 知識及び技能

性に関する指導については段階的学び、いわゆる既習事項として知識が定着しているが生徒がいる一方で、興味・関心や経験の程度は一人一人異なっており、保健の学習に対する学習意欲は偏りがある。本単元では、確かな知識が学びの基盤になることを踏まえ、適切に指導していく。習得した知識が今後の実生活につながり、生きた教材・生きた知識となるよう配慮し、学習内容を明確にしていく。

(2) 思考力、判断力、表現力等

正しい理解をもとに今現在あるいは将来に生かすことを目的とし、自分事として捉えることができる教材の工夫をしていく必要があると考える。具体的には、ケーススタディや話し合い活動などを積極的に取り入れ、自分たちが考え、発表し、評価を得る過程の中で、自己効力感・自己決定感を感じられる授業実践をしていく。

(3) 学びに向かう力、人間性等

確かな知識を高めることはもちろん、適切な行動が求められる現代において、自分事として捉えて学びを深めていく必要があり、非常に重要な学習範囲となる。最終的には健康と命の大切さに触れること、性についての学習にとどまることなく、自他の健康に関心を持ち、その課題を解決し、明るく豊かで活力ある生活を営む資質や能力を育てていきたいと考える。加えて、適切な情報の扱いや心の成長の重要性、今回、性に関する指導を受ける意義・目的を明確にし、本時の授業につなげたい。

I 学習（指導）内容の明確化

学習内容の理解と深まりを図るため10時間扱いとする。詳しくは、「7単元の指導と評価の計画」に示す。

II 基礎的・基本的な知識の習得と知識を活用する学習活動の実践

一斉教授型の授業スタイルで性に関する基本的な知識の習得を目指すことに加えて、自らが課題を見つけ、タブレット端末を活用したり、話し合いをしたりする中で、適切に行動するための方策について考える機会とする。本時については知識や理解したことを共有して、より深い学びにつなげる学習活動を展開する。また、対話的な活動を行い、指導のねらいである「性に関する指導」の課題を明らかにし、課題解決の実現に向けた行動選択につなげることはもちろん、環境づくりの大切さを実感し、多様な情報との付き合い方についても触れることとする。

III 学習内容を主体的に取り組みせるための教材の工夫

・ICTの活用と資料の工夫

本時では、プレゼンテーションソフトを活用して授業を展開する。豊富な情報を効率的に生徒に提供でき、視覚的に見やすくわかりやすいことから生徒の理解の促進につながると考える。また、板書する時間を省略することができ、生徒の活動時間を確保することや生徒の思考の助けとなることなどが期待できる。

資料については色付きで作成し、生徒が興味・関心を持ちやすいよう工夫することで、学習意欲の向上につながる。また、グラフや表等の視覚に訴える資料の提示により、生徒の思考を促す一助とする。

5 単元の目標

- (1) 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて、理解できるようにする。 <知識及び技能>
- (2) 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを説明することができるようにする。 <思考力、判断力、表現力等>
- (3) 生涯を通じる健康について、自他の健康の保持増進や回復、それを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 <学びに向かう力、人間性等>

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
① 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ② 思春期における変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③ エイズ及び性感染症について、その原因及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ④ 受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題、及び健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ⑤ 家族計画の意義や、人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ⑥ 結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ⑦ 中高年期を健やかに過ごすためには、自己管理を行うこと、高齢期においては、変化する心身の機能等には個人差があり、健康の回復が長期化する傾向にあること、高齢社会では、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	① 生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ② 結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	① 思春期と健康、結婚生活と健康について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。

7 単元の指導と評価の計画（全10時間）本時は○印

時	学習のねらい・活動	知	思	態	評価方法
1 思春期と健康	<p>I ねらい</p> <p>思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。</p> <p>II 学習活動</p> <p>1 概要説明、思春期における男女の特徴並びに心理的特徴</p> <p>2 まとめ</p> <p>指導すべき内容</p> <p>思春期における心身の発達や健康課題について特に性的成熟に伴い、心理面、行動面が変化すること。</p>	①			観察 ワークシート
2 性意識と性行動の選択	<p>I ねらい</p> <p>思春期における変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解できるようにする。思春期と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自己や社会の課題を発見することができるようにする。</p> <p>II 学習活動</p> <p>1 概要説明、男女差について、LGBTQ+、SOGIについて 性情報の注意点について、生命の安全教育</p> <p>2 まとめ</p> <p>指導すべき内容</p> <p>思春期における心身の変化に対応し、自分の行動への責任や異性を尊重する態度が必要であり、性に関する情報への適切な対処も必要であること。</p>	②	①		観察 ワークシート
3 性感染症・エイズとその予防	<p>I ねらい</p> <p>エイズ及び性感染症について、その原因及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できるようにする。</p> <p>II 学習活動</p> <p>1 概要説明、性感染症の過去と現在 性感染症がもたらす影響</p> <p>2 発表準備(ICT活用など)主な性感染症を一つ選択</p> <p>3 発表練習</p> <p>指導すべき内容</p> <p>エイズ・性感染症の理解と今後の自らの行動選択を適切に行うこと。</p>	③			観察 ワークシート
4 性感染症・エイズとその予防 II	<p>I ねらい</p> <p>同上</p> <p>II 学習活動</p> <p>1 前時の復習 2 発表 3 振り返り・まとめ</p> <p>指導すべき内容</p> <p>前時に加えて正しい情報の取り扱いについて適切に行うこと。</p>	③			観察 ワークシート
5 妊娠・出産と健康	<p>I ねらい</p> <p>受精、妊娠、出産に伴う健康課題について理解できるようにすると共に、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解できるようにする。</p> <p>II 学習活動</p> <p>1 概要説明、受精・妊娠・出産について、 妊娠中の健康管理・配慮事項、産後について</p> <p>2 まとめ</p> <p>指導すべき内容</p> <p>妊娠から出産、その後のサポートについて触れることとし、受精、妊娠、出産に伴う健康課題があること。</p>	④			観察 ワークシート

6 避妊法と人工妊娠中絶	<p>I ねらい 家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解できるようにする。</p> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 概要説明、家族計画の意義について、避妊法について人工妊娠中絶について 2 まとめ <p>指導すべき内容 正しい理解と選択が不可欠であり、様々に責任が伴うこと。</p>	⑤			観察 ワークシート
7 結婚生活と健康	<p>I ねらい 健康な結婚生活は、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解できるようにする。 結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができるようにする。</p> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 概要説明、結婚生活と心の発達について、結婚生活と家族の健康について、結婚生活の諸課題 2 まとめ <p>指導すべき内容 結婚生活には互いの理解と協力が必要であること。また周囲のサポートも取り入れるなどの選択もできるということ。一方で虐待等課題もあること。</p>	⑥	②		観察 ワークシート
8 まとめⅠ	<p>I ねらい 思春期と健康、結婚生活と健康、について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができるようにする。</p> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 流れの説明 2 発表準備(ICT活用など) 3 発表練習 <p>指導すべき内容 まとめや発表資料について、誰もが端的で理解しやすい工夫を呼びかける。</p>		①	①	観察 ワークシート
⑨ まとめⅡ	8、本時の学習と指導 参照	②	①		同上
10 加齢と健康	<p>I ねらい 中高年期を健やかに過ごすためには、自己管理を行うこと、高齢期においては、変化する心身の機能等には個人差があり、健康の回復が長期化する傾向にあること、高齢社会では、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて理解できるようにする。 生涯の各段階における健康について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとすることができるようにする。</p> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本時のねらい 2 中高年が抱えるの健康面で不安 3 加齢に伴う心身の衰えについて 	⑦			観察 ワークシート

	<p>4 生活習慣による中高年期の健康問題</p> <p>指導すべき内容</p> <p>加齢に伴う心身の変化について、形態面及び機能面からあること。・中高年期を健康に過ごすためには、若い時から自己管理をすること、生きがいをもつこと、家族や親しい友人と良好な関係を保つこと、地域と交流を持つことなどが重要であること・高齢社会の到来に応じて、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であること</p>				
--	--	--	--	--	--

8 本時の学習と指導（9/10）

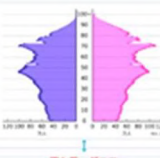
(1) ねらい

- ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて理解することができるようにする。 <知識及び技能>
- ・生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができるようにする。 <思考力、判断力、表現力等>

(2) 資料及び準備するもの

プロジェクター、スクリーン、ノートパソコン、ワークシート、マイク

(3) 展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点（○指導 ◆評価規準）
導入 5分	1 挨拶・出席確認 2 本時の説明と確認 3 前回までの振り返り	○挨拶、出欠・座席の確認をする。 ○本時の学習の流れを理解し、学習の見通しをもたせる。 ○前時までの内容について簡単に振り返りをする。 ○グループ活動をそれぞれ振り返らせる。
展開 35分	4 グループ活動の発表(20分) 趣旨説明・発表準備等 グループ A（思春期と健康） 思春期と健康 学んだこと ・女性の体と思春期（月経、排卵） ・男性の体と思春期（精通・マスターベーション） ・体型を気にしたり、経験不足を感じたりする ・欲求不満や悲観的になりやすく、それでイライラなどが起こること 大切なこと ・周囲のサポートを求める事 ・心身に影響する事を把握し、自身をコントロールすること グループ B（性意識と性行動の選択） 性意識と性行動の選択 学んだこと ・性意識の男女差 ・異性への尊重 ・信頼できる性情報と性行動の選択 大切なこと ・行動の結果を考え、責任をもって行動すること ・正しい情報をもとに行動すること 	○課題について、グループごとのワークシートにまとめたものを共有し、発表させる。 ○各グループの発表をしっかりと聞き、差異にも注目しながらメモを取るよう促す。 以下、生徒の発表内容に応じて随時補足していく ○個人差があるものの、思春期における性への関心の高まりは普通であること。また、この時期は心と体の成長にずれがあり、理想と現実での差がイライラなどにつながりやすくなるなど、自身の状況と重ね合わせながら考えさせる。 ○個人差があるものの、生物学的な男性女性で考え方に傾向があることや他者への理解が大切であること。多様な考え方が一般的になり、求められる一方課題もあること。性情報については、しばし誤った情報も含むこともあり、注意が必要なことなどを確認する。

グループ C (性感染症とその予防)

性感染症・エイズとその予防

梅毒では、発症すると三段階に症状が現れます。症状は現れたり自然に消えたりを繰り返すので、病院の治療の継続が大切です。

淋菌感染症は淋菌は弱い菌なので、感染者の粘膜から離れると感染力を失い、日光や気温の変化、消毒剤で簡単に死滅します。

大切なこと
・一回の性的接触でもかかる場合がある。
・相手への配慮が大切
・コンドームの使用、パートナーとの検査、治療

性感染症についてあまり深く知らなかったため、病気がどのような症状になるのかしれてよかったです。

グループ D (妊娠・出産と健康)

妊娠・出産と健康

<学んだこと>

- ・受精・妊娠・出産までの流れ
- ・妊娠中は胎児への影響を考え飲酒や喫煙は控えること
- ・出産には母体の負担が大きいこと
- ・マタニティーブルー・産後うつ
- ・母子保健サービス



<大切なこと>

- ・周囲のサポートを受けること
- ・パートナーとの協力が大切であるということ

グループ E (避妊法・人工妊娠中絶)

避妊法と人工妊娠中絶

学んだこと

- ・主な避妊法：ピル、コンドーム、IUD、避妊手術、緊急避妊薬
- ・確実な避妊法は「性交しないこと」
- ・人工妊娠中絶：妊娠週22週未満に限って、手術によって胎児を母体外に出すこと
- ・特別な理由がある場合に限り、母体保護法により認められている
- ・女性にとって身体的負担や精神的な傷が大きい

大切なこと

- ・望まない妊娠をしないために互いを理解すること
- ・尊重できる関係でいること
- ・避妊の重要性を理解すること



グループ F (結婚生活と健康)

結婚生活と健康

学んだこと

- ・結婚とは法律で定められた婚姻状態にある夫婦
- ・精神面の発達
- ・互いの健康状態を知っておくこと
- ・食事や住環境に配慮すること
- ・高校生の時期から心身の健康づくりに努めること

大切なこと

- ・パートナーとの協力
- ・責任感
- ・精神面の発達が不可欠であるということ

○まとめのポイント

情報を詰め込みすぎないか
端的に言うとは何が一番大切か
単元を通して学び考えたことは？

前時までに学んだことを生かして、現状・課題を明らかにする。
性に関する課題解決のためにできることを考えるための次の発問につなげる。

○予防を怠ると一度の性行為で感染する可能性があること。
とりわけ梅毒に増加傾向がみられること。パートナー同士で予防あるいは罹患した場合には治療が大切だということなどを確認する。

○まず自分が生まれてくる確率を振り返り、改めてかけがえない存在であることを自覚できるような声掛けを行う。
妊娠から出産、その後に至るまでパートナーとの協力・育児の参画が不可欠であるということなどを確認する。

○家族計画の重要性について今一度確認させる。そのうえで、子どもを望まない場合には、避妊法を適切に行う責任があることを確認させる。人工妊娠中絶については、身体的・精神的負担が大きいこと。一方で、選択することは間違いではないこと。いずれも責任が問われることを再度確認する。

○結婚生活では協力や思いやりなど精神的な発達求められること。健康的な生活を送るためにも互いのことを理解し行動していくことが求められているということ。一方で、虐待に代表されるように課題があることなどを確認する。

◆思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて理解したことを言ったり書いたりしている。 【知識・技能】

△「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て

- ・グラフや表の数値の部分に着目させる。
- ・前時のメモや仲間の発言を参考にさせる。

◎「十分満足できる」状況(A)と判断される生徒の具体的な姿

- ・前時の授業で得た知識と実際の生活行動を結び付けて、自分の考えを発言している。
- ・周りの意見をメモするなど、自分の考えに取り入れている。

	5 問題提起・課題解決	<p>○発表後、改めて性についての見識を深めることの意義を確認する。※「生命（いのち）の安全教育」の視点から</p> <p>○そのうえで課題があることを確認させ、次の学習活動につなげる。課題については、性被害・性暴力件数、人工妊娠中絶の件数、性感染症に罹患率などグラフで示すものとする。</p>
<p>課題 日本における性課題を解決するために、私たちができることはなんだろう。</p>		
	<p>6 発表（3分） 2グループ程度</p> <p>（予想される回答）</p> <p>SNSの利用・CMの作成 職場での講習を義務化など</p> <p>↓実際の授業で出てきた回答</p> <p>個人 1頁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健も授業もまじめに受ける ・性に関する考え方を変える <p>社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホの広告（YouTube等） ・SNSへの発信（インスタ、X等） ・チラシを配る 	<p>○発表を受けて課題を明確にし、性課題解決の重要性を理解した上で、社会的取り組みについて考えさせる。</p> <p>○考えが難しい場合は、タブレット端末を用いてもよいが、極力使わないものとし、生活の中にヒントがあることを伝え、考えさせる。活発な議論がなされるように声掛けを続ける。</p> <p>◆生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【思考・判断・表現】</p> <p>△「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループの発表内容から、キーワードを確認させるとともに、身近な生活の中にあるヒントに着目するよう促す。声掛けを行う。※教育や自治体について、SNS等の活用等 ・仲間との話し合いの中で自分なりに考えさせる。 <p>◎「十分満足できる」状況(A)と判断される生徒の具体的な姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的に性課題解決の方策を示し、自分の考えについて筋道を立てて説明している。 <p>○クラス全体で共有する中で、理解を深める。</p>
終末 10分	7 振り返り・まとめ・次回予告 8 挨拶	<p>○ワークシートに今回の自分の中で起こった変化や新たな理解について記述させる。発表させ、まとめにつなげる。</p> <p>○挨拶、ワークシートの提出を指示する。</p>

【授業の様子】



組 番 氏名 _____

○グループ活動・発表 他の班の発表から、わかったことを書き出そう！

A 思春期と健康

B 性意識と性行動の選択

C 性感染症・エイズとその予防

D 妊娠・出産と健康

E 避妊法と人工妊娠中絶

F 結婚生活と健康

メモ

- ・
- ・
- ・
- ・

IV 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会

令和5年度埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 学校における性に関する指導の充実を図るため、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(事業)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事業を所掌する。

- (1) 児童生徒の発達の段階や地域の実態に応じた性に関する指導のための指導計画の研究
- (2) 各学校における効果的な指導法や指導教材に関する研究
- (3) 性に関する指導の授業研究会の実施とその効果の検証に関する研究

(組織)

第3条 委員会は、別表に掲げる委員をもって構成する。

2 委員会に委員長を置き、学識経験者をもって充てる。

3 委員会に副委員長を置き、埼玉県教育局県立学校部参事兼保健体育課長及び県立学校長又は市町村立学校長をもって充てる。

(運営)

第4条 委員長は、委員会を総括する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、令和6年2月29日までとする。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、議長を務めるものとする。

2 委員長が、必要と認めるときは、別表に掲げる者以外の県及び市町村等、関係機関の職員の出席を要請することができる。

(事務局)

第7条 委員会は、事務を処理するために、事務局を埼玉県教育局県立学校部保健体育課内に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し、必要な事項は委員長が別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、令和5年6月2日から施行する。

別 表 (第3条関係) 委員

学識経験者
公立学校校長
教諭
養護教諭
保健体育課長

学校健康教育推進事業（「性」に関する指導」課題解決支援事業）

【児童生徒を取り巻く状況】

- ・ 性情報の氾濫など社会環境の急激な変化により、子供たちの心身の健康に大きな影響を与えている。
- ・ 若年層のエイズ及び性感染症や人工妊娠中絶が問題となっている。

【課題】

- ・ 子供たちが性に関して適切に理解し、行動できるようにすること。
- ・ 心身の発育・発達と健康や性感染症の予防などに関する知識を確実に身に付けること。
- ・ 自他を尊重する心を育むこと。

埼玉県「性」に関する指導」課題解決検討委員会の開催

- 埼玉県「性」に関する指導」課題解決検討委員会を設置し、発達の段階に応じた効果的な性に関する指導方法の研究を行う。

・ 県における課題の把握

- ① 性感染症
- ② 人工妊娠中絶
- ③ 性情報への対処
- ④ 家族計画の意義 など

・ 課題解決方法の協議、検討

- ・ 事業成果の検証
- ・ 事業成果の普及・啓発

【構成員】

有識者、学校関係者 等

指導
助言

報告

「性」に関する指導」指導者研修会の開催

- 性に関する健康課題を受け、指導方法の普及推進を図るため、学校における指導者を対象に研修会を開催

・ 行政説明

・ 実践発表

・ 講演会

「性」に関する指導」授業研究会の開催

- 発達の段階に応じた効果的な性に関する指導方法について授業研究会を実施。

・ 校種別に授業研究会を開催

・ 研究協議 等

子供たちの豊かな心と健やかな体を育成する

令和5年度 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会名簿

		氏 名	所 属	職 名
1	委員長	戸部 秀之	埼玉大学教育学部	教 授
2	副委員長	岩澤 奈々子	川口市立並木小学校	校 長
3	副委員長	松中 直司	教育局県立学校部保健体育課	参 事 兼 課 長
4	委員	川尻 鈴ノ介	県立北本高等学校	教 諭
5	〃	梨本 雄太	県立進修館高等学校	教 諭
6	〃	斉藤 美智子	県立和光国際高等学校	養 護 教 諭
7	〃	江夏 彩香	春日部市立東中学校	教 諭
8	〃	三好 明日美	所沢市立小手指中学校	養 護 教 諭
9	〃	力丸 真智子	志木市立志木中学校	養 護 教 諭
10	〃	綿貫 聡	毛呂山町立泉野小学校	教 諭
11	〃	藤田 晃輔	八潮市立八幡小学校	教 諭
12	〃	塩澤 美保子	本庄市立藤田小学校	養 護 教 諭

1	事務局	遠井 学	教育局県立学校部保健体育課	主 任 指 導 主 事
2	〃	脇田 一亮	教育局県立学校部保健体育課	主 幹
3	〃	澤村 文香	教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事
4	〃	坂上 三四郎	教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事

令和5年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業
実施報告書

埼玉県教育局県立学校部保健体育課

課長	松中 直司
教育指導幹事	大松 武晴
主任指導主事	遠井 学
主幹	脇田 一光
主査	峰岸 宏次
指導主事	澤村 文香
指導主事	龍野 雅美
指導主事	坂上三四郎
主事	金井 孝太

令和6年3月発行

さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話 048-830-6963



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」